

FFG

中間期ディスクロージャー誌 **2009**
あなたのいちばんに。編



特集 少子高齢化時代到来 そのときあなたは

拝啓企業さま
FFGは企業のライフサイクルに合った
サービスをご提案します。

インターネット専用口座
「Net-One(ネットワン)」

トップメッセージ

平成21年度中間期の
業績ハイライト

FFGの社会的責任
CSRレポート2009



あなたのいちばんに。

FFGは目指しています。

そう思っていたただける銀行を

「時代や社会が変容しても、
変わらない」心のサービスがここにはある。」

Contents

- 03 トップメッセージ
「あなたのいちばんに。」
～お客さまとのリレーション強化～
- 05 特集 少子高齢化時代到来
そのときあなたは——
- 13 ライフステージと
FFGの商品&サービスラインナップ
- 15 拝啓企業さま
FFGは企業のライフサイクルに合った
サービスをご提案します。
- 17 インターネット専用口座
「Net-One(ネットワン)」
- 19 CSRレポート2009
- 20 環境共生活動
- 21 生涯学習支援
- 23 ユニバーサルアクション
- 24 みなさまから、社会から、
信頼される企業であり続けるために
- 25 業績ハイライト
- 33 FFGのネットワークとプロフィール

あなたにとって、銀行はどのようなところですか？
大切な資産を預けるところ。
必要な資金を借りるところ。
お金に関する手続きや相談
をするところ…。
どれも正解です。
でも、それだけでは、どの
の銀行を選んで同じです
よね。



福岡銀行吹奏楽団「ブルースカイ」
による福祉施設訪問演奏の様子。

※平成7年11月、銀行職員・OBにより組成。

お客さまの大切なお金や人生設計について一緒に考えさせていただくのですから、何か一つでも心に残るサービスをご提供したいとFFGは考えています。

例えば、お手続き中の何気ない会話、お待ちいただいているロビーの雰囲気、FFGに来てよかったと感じていただけるような居心地の良さ。

そして、こうしたお客さまとの繋がりは、なにも銀行の中だけではありません。

各種セミナーやスポーツ大会、芸術鑑賞などのさまざまな地域貢献活動を通じて身近に感じていただいたり、時には、吹奏楽団が病院や福祉施設を訪れて音楽のプレゼントをしたり…。

「銀行なんてどこも同じ」ではなく、FFGを選んでわざわざ足を運んでいただけるような銀行になることがわたしたち、FFGの願いです。

「あなたのいちばんに。」 ～お客さまとのリレーション強化～

ふくおかフィナンシャルグループ
取締役会長兼社長

谷 正明



お客さまとの リレーション強化の取組み

FFGは、お客さまとの信頼関係を深めていくために、お客さまとの「リレーション強化」を業務運営の柱に据えております。

法人営業では、お取引先をよく知り、個別の業界・企業の実態を理解して信頼関係を深め、お取引先と一緒に課題解決に取り組んでいくことが、地域金融グループとしての存在感を高めることだと考えております。特に中小企業のお客さまには、資金ニーズにお応えするだけでなく、経営改善計画の策定支援など、円滑な機能を発揮することでみなさまのお役に立ちたいと考えております。

個人営業では、一人ひとりのお客さまの声に耳を傾け、お客さまのライフステージごとに、最適な商品を提供できるさまざまな相談営業とアフターフォローで未永くお取引いただける関係を築いていき

たいと願っております。

お客さまとの最大の接点であります店舗においては、おもてなしの心に徹した応対をすることで、ご満足いただけるサービスをご提供していく活動に取り組んでおります。

この10月には、福岡銀行の本店営業部をリニューアルオープンいたしました。ゆっくりご相談いただけるスペースをご用意しておりますので、是非ご体感していただければと思います。

飛躍的成長ステージへ

このように、お客さまとの「リレーション強化」し「サービス品質」を向上させることが、FFGの成長の源であります。第二次中期経営計画の総仕上げを完了させ、次なる成長ステージへ向かうことになりませんが、この「サービス品質」が我々の追究すべき点であり、競争力の源泉であると考えております。

したがって、次期中期経営計画においても、お客さまと

の「リレーション強化」や「サービス品質の向上」を業務運営の軸としていきたいと考えております。

第二次中期経営計画の進捗と総仕上げ

さて、平成21年度の間決算は、前年度の海外金融資本市場における混乱の余波が残ったものの、FFG連結当期純利益は242億円を確保することができました。通期の見通しにつきましても当初予想通り280億円を見込んでおり、経営統合後の統合作業と併せ、第二次中期経営計画は順調に進捗しております。平成19年4月に福岡銀行と熊本ファミリー銀行は、共同株式移転によりふくおかフィナンシャルグループ（FFG）を設立しました。その後10月に親和銀行を加え、3行体制となったことを機に第二次中期経営計画をスタートさせました。今年度がその最終年度となり、現在総仕上げに取り組んでおります。

FFGでは「質の高い金融サービス」を提供する「広域展開型地域金融グループ」を目指して、第二次中期経営計画のスタート時より、グループ3行の店舗ネットワークや関連会社の統合、事務やIT基盤の共通化など、経営インフラ整備を進めてまいりました。

また平成21年2月には、会社分割により、熊本ファミリー銀行と親和銀行の事業再生および不良債権関連事業を福岡銀行が承継し、グループの事業再生にかかわる体制を強化し、両行の財務健全性を図るなど、着実な事業展開を進めてまいりました。その結果、バランスシートは大幅に改善し、不良債権比率や自己資本比率が着実に改善するなど、健全性は格段に向上しております。特に熊本ファミリー銀行、親和銀行は、「不良債権問題と訣別」し、収益向上のステージへと軸足を移しております。

今中期経営計画期間は、飛

躍的成長に向けた助走期間と位置づけており、経営統合後の経営インフラの整備を重点的に進めてまいりました。来年1月に親和銀行とのシステム統合を予定しており、このインフラ整備は概ね完了いたします。

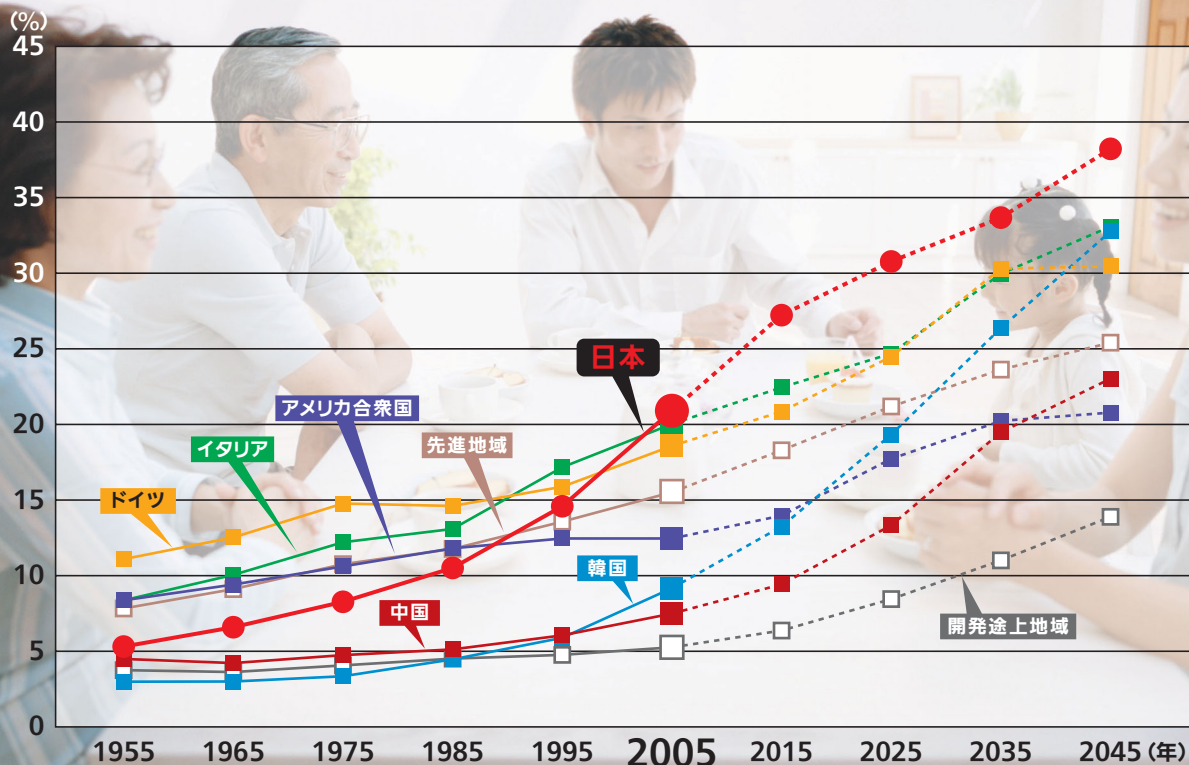
「あなたのいちばん」。

FFGのブランドスローガンは、「あなたのいちばんに。」であります。このスローガンにはFFGのお客さまに対する思いが集約されております。お客さまの声に親身から耳を傾け、対話し、共に歩んでいくことで「いちばん身近な」、また豊富な知識と情報を活かし、お客さま一人ひとりに最も適したサービスを提供することで「いちばん頼れる」、そして、金融サービスのプロ集団として、すべての人の期待を超える提案を続けることで「いちばん先を行く」地域金融グループであるために従業員一同努力してまいります。

少子高齢化時代到来 そのときあなたは——

今、日本の少子高齢化が、世界の注目を集めています。
2035年には3人に1人が65歳以上の高齢者になる(注1)と言われる日本。
少子高齢化のこの時代を、これからわたしたちは
どのように生きていけばよいのでしょうか——。

図1: 世界の高齢化率の推移 日本の高齢化は世界に例を見ない速度で進行しています。



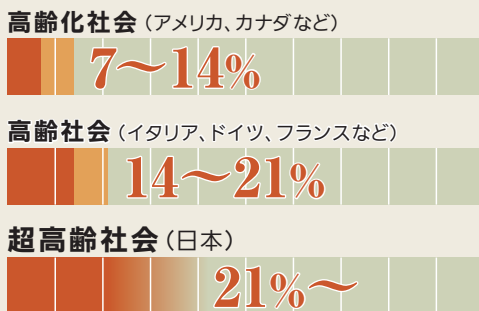
出典/平成21年版 高齢社会白書(内閣府)

(注) 先進地域とは、北部アメリカ・日本・ヨーロッパ・オーストラリアおよびニュージーランドをいう。

開発途上地域とは、アフリカ・アジア(日本を除く)・中南米・メラネシア・ミクロネシア・ポリネシアからなる地域をいう。

図2: 高齢化社会の呼称とその高齢化率*

*65歳以上の高齢者が総人口に占める割合



出典/人口統計資料集(2009) 国立社会保障・人口問題研究所

日本は「超高齢社会」

先進国の中でも類を見ないほど急速に進行している日本の少子高齢化は、もはや軽視できない深刻な問題です。

2005年、日本の総人口は戦後初めて減少に転じました。2008年10月1日現在の総人口は、前年比約8万人減の1億2,769万人。

一方で、65歳以上の高齢者人口は2,822万人、高齢者が総人口に占める割合(高齢化率)も22.1%と、いずれも過去最高となりました(図1)。

国連の報告書の基準に照らし合わせると、日本は既に「超高齢社会」時代に足を踏み入れているのです(図2)。高齢化が進んだ大きな要因は2つあります。一つは、平均寿命が延びたこと。

注1:平成21年版 高齢社会白書(内閣府)

注2・3:「平成18年度社会保障給付費」(国立社会保障・人口問題研究所) 社会保障給付費は年金・医療・福祉その他を合わせた額

もう一つは、少子化の進行です。実は、この少子化の急速な進行が、この問題をより複雑かつ深刻なものにしているのです。

少子高齢化による問題とは

では、少子化と高齢化が同時に進むと、どういったことが起こるのでしょうか。

まず、子どもの数が減ること、働くことができる人(生産年齢人口)が減少します。その一方で、高齢者が増えることで、年金・医療・福祉などの社会保障費は増大します。実際に、平成18年度の社会保障給付費(注2)は過去最高水準の89兆1,098億円となり、国民所得に占める割合も23.9%(注3)と過去40年で4倍にまで上昇しています。その結果現役世代の負担が重荷となり、やがて限界に達して制度の維持が困難になってしまふ、と心配されているのです。

この問題は、環境問題と同じで、「明日すぐ困難に直面する」という性質の問題では

ありません。しかし、緩やかに、確実にわたしたちの生活設計やライフスタイルに大きな影響を与えることが予想されます。

ゆとりある充実した人生を実現するために

高齢者の暮らし向きについてみると、「ゆとりがある」と感じている人の割合が8.5%であるのに対し、「苦しい」と感じている人の割合は26.4%に上ります(図3)。

みなさんは、老後の資金について、どのようにお考えですか。

残念ながら、今後も国や会社が老後を保障してくれるとは限りません。そうなったときに慌てないためには、老後まで見据えた人生設計を、自己の責任において考え、計画的に行動することが必要となってきます。

例えば、定年を迎えてからの人生を、完全にリタイアして過ごすのか、第2の職業人生を過ごすのか。それによって、預金の運用の仕方、生命保険や医療傷害保険などの設

計が変わってきます。

また、セカンドライフの間が長くなることによって、自分の生活資金が想定していたよりも多く必要になることがあるかもしれません。そのとき、子や孫に資産は遺せるのでしょうか。

少子高齢化問題は、「老後」を身近に迎える人だけの問題ではありません。

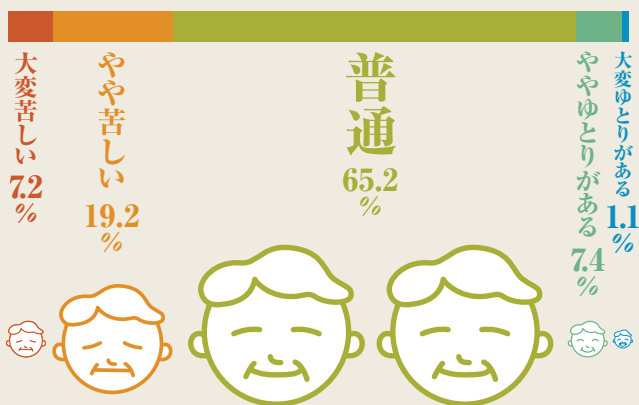
自分よりも1世代先を行く親が「老後」を迎える子ども世代の人にとっても深刻な問題ですし、生きていく以上、誰にでも老後はやってきます。そのときのために、今から何をしなければならぬのか、何ができるのか、分らないままにしているのは漠然とした不安を増大する一方です。

ゆとりある充実した人生を実現するために、今からどんなことができるのか、FFGと一緒に考えてみましょう。さらに今回は、相続コーディネーターの首根さんに、「少子高齢化」時代の相続事情について教えていただきました。

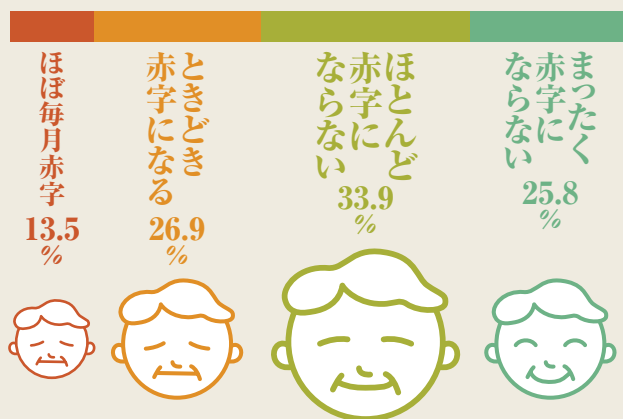
図3: 高齢者の暮らし向きについて

「苦しい」(「大変苦しい」と「やや苦しい」の計)と感じている方の割合は、「ゆとりがある」(「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」の計)と感じている方の割合の約3倍です。

Q1.現在の暮らし向きについて



Q2.家計の状況について



出典/「平成20年生活実態に関する調査」(内閣府)、調査対象は65歳以上の男女

「少年高齢化」時代を楽しく、かしく、生きる「ツ」！ 10年後、20年後の自分を想像して みることから始めましょう！

世界不況や少年高齢化といった、暗い話題や不安な情報が氾濫しています。そのような時代の中で、自分の将来やセカンドライフについて漠然とした不安を抱えている方が多いようです。その一番の不安はお金の問題です。

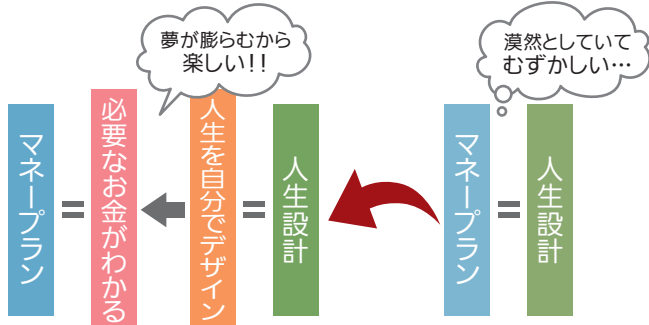
今回は、FFG営業企画部の北川由佳さんに、「マネープランの立て方について伺いました。」「豊かで充実した人生を送る」ために、今から何ができるかを一緒に考えてみませんか。

「人生設計＝マネープラン」ではない

「人生設計＝マネープランを立てる」と思っていないませんか？ わたしが、お客さまとお話していて感じるのは、マネープランを立てることを随分難しくお考えの方が多いということです。確かに、人生設計に合わせて数字などの細かい表を作るのは面倒ですよね。でも、将来について考えることは、夢に溢れた楽しいことなのに、面倒だからとあきらめてしまつのはもったいない

ことだと思えます。

まず、自分がどんな人生を送りたいのか想像してみてください。「豊かで充実した人生」と一口に言っても、「子どもは2人欲しい」「広い庭の家に住みたい」など、10人いれば10通りの人生があると思います。人生を想像しながらライフプランを立てたら、それを実現するために必要なお金のことを考えていきます。



漠然としていてむずかしい…

夢が膨らむから楽しい!!

「かるた」でライフデザイン!?

ただ、「これからの人生でやりたいことを自由に考えてみる」という作業はなかなか難しいようで、ご相談にいらつしやるお客さまも、その場では思いつかない方が多いですね。そこで、お客さまに「マイホームを建てる」「子どもをもつ」「海外旅行」「趣味の教室を開く」など、色々な夢やイベントを書いた「かるた」をお見せして、とりあえずしたいことや実現したいと感じたものを選んでいただきます。そうすると、「あれも興味あるわ」「これもしてみたい」といった声が結構上がるんです。

次に、選んだものをいつ実現したいのかを考えていただき年代別に並べます。ここまできると、夢が膨らみ、イメージがより具体的になっていきます。普段ご家族で、このような話をする機会はなかなかありませんよね。お子さまの夢に気づいたり、配偶者の意外な一面に気づいたり、お母さん

そんな大それた夢を!?なんてこともあったり…(笑)。家族で未来の方向性を共有することは大切なことだと思えます。是非、この機会にご家族と一緒に考えていただきたいですね。



「お財布を分ける」という考え方

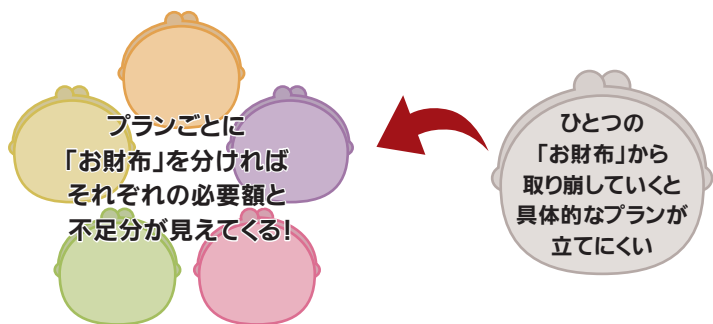
実現したい夢が固まったら、ここからお金について考えていきましょう。その夢やイベントを現実のものにするには、どれだけのお金が必要なのか、お友達や専門家、インターネットを使って情報収集してみるといいですね。もちろん、銀行でもご案内していますのでお気軽にお尋ねください。

わたしがご提案しているのは、「お財布を分ける」という考え方です。その夢やイベントごとのお財布を想像して、そのお財布に必要なお金を振り分けてみましょう。

例えば、働きだしたばかりの20代の方は、これからお財布に貯めていこう、ということももしかたありませんね。30代・40代の方は、今の貯蓄をある程度振り分けて確保し、将来のお財布についても現役の今のうちにせつせと補充しておきたいところです。定年退職を迎えられた方は、不安になつてとりあえず全額をまとめて置いておく方も多いようです。

そこで、退職金もそれぞれのお財布に振り分けてみましょう。これは海外旅行のために60代で使うお金、これは70代のために残しておくお金…、これだったら無理なく

取組めそうな気がしてきませんか？ お金に対して不安になるのは、何にどれだけ必要かが分からないからではないでしょうか。この「お財布を分ける」という作業をすることで、どのお財布が不足するのかが見えてきます。そうすると、今の生活を少しだけ見直して、毎月の貯蓄額を増やすといった対策を立てることができ、「貯める」「殖やす」という選択肢も生まれます。少し遠い道のりに感じられるかもしれませんが、まず自分の目標や今立っている場所を知り、自分に何ができるかを考えることこそが夢や将来への第一歩になります。ただ不安に感じて恐れるだけでなく、できることから一歩を踏み出してみることが大切ではないでしょうか。



「選べる時代」を楽しくかしく

「少子高齢化」は、悪いことばかりではないと思います。お年寄りは人生の先輩方です。昔ながらの知恵や、豊かな人生の送り方など学ぶことも多いはず。それに、お年寄りにとっても、人生が長くなる分楽しい時間も増えますよね。準備さえきちんとしていけば、決して怖いことはありません。

ライフスタイルが多様化したことにより、それに応じてサービスもさまざまに進化しています。自分の生き方に合

わせて、色んなものを選べる時代になりました。逆に色々あり過ぎて選べない、なんていう警沢もあるかもしれませんね。そのときは、是非その道の専門家に相談して、楽しくかしく、自分にフィットするものを選びください。銀行はお金の専門家。夢やお客さまができることや、わたしたちがお手伝いできることを、色んなお話をしながら一緒に考えていきましょう。



FFG営業企画部
北川 由佳

「相続」は誰でも経験 しなればならない問題。 円満な相続の秘訣は、 「意思が見える」ことです。

少子高齢化問題は、身近な暮らしにも深刻な影響を与えています。例えば、「相続」。少子高齢化によって家族構成や家庭のあり方が変化することで、相続事情も今までは変わってきているようです。「相続」というと、「まだ先の話」「資産家だけの問題」などと思われる方が多いかもしれませんが、しかし、家族の誰かに万が一のことがあると、相続税の課税対象になる・ならないにかかわらず、誰もが避けては通れない問題です。

今回は、相続コーディネーターの曾根恵子さんに、現代の相続事情について教えていただきました。



曾根恵子さんのプロフィール／PHP研究所勤務後、会社代表を経て「株式会社資産相談センター」を設立（2008年「株式会社夢相続」に商号変更）、2003年に代表取締役に就任。宅地建物取引主任者、不動産アナリスト、ファイナンシャル・プランナーなど多くの資格を持つ。

【株式会社 夢相続】相続人の意思・要望を正しく反映するため、相続に関する無料相談を受け、解決に向けての提案を行う。家族の事情にあわせた「オーダーメイド相続」を提唱、「相続コーディネーター」が相続人と相続に関わる各専門家との連携の中心となってさまざまな相続問題に取り組む。
東京都中央区八重洲1-5-3 不二ビル5階（電話）03-5255-3388
<http://www.yume-souzoku.co.jp>

相続相談のトップは 遺産分割のもめごと

相続（※1）に関するご相談は全国各地や海外からも寄せられますが、一番多いのは遺産分割のもめごとで、全体の3割を超えています。親子や兄弟姉妹で話し合うことができないうちで、身内で裁判をしていくこともめずらしくはあります。

家督相続（※2）の制度が無くなった現在では、今までの定番は崩れ、相続人はみな同じ立場で権利を主張できるようになりました。バブル経済の崩壊後は長引く不況の影響や「お金がすべて」という拝金主義の影響もあり、財産に執着する傾向が否めません。「財産をもらうこと＝相続」だと思っている人が増えたように思えます。

財産の多少に関係なく、 相続は誰でも経験する

少子高齢化が進んだ現代では、家族関係は以前よりも複雑、かつ希薄になっており、実の兄弟姉妹でも意思の疎通がはかれない（図4）こともあります。家族や家業に対する

※1「相続」

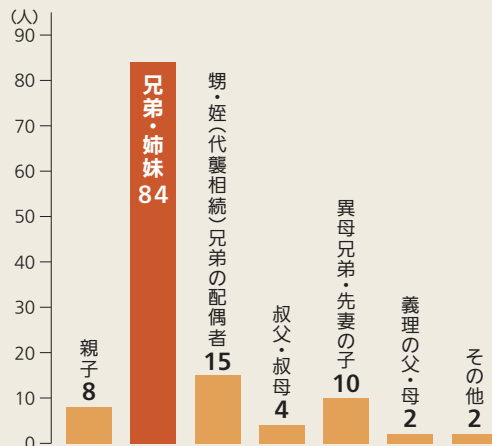
ある人が亡くなったときに、その人の財産を一定の範囲の近親者が受け継ぐこと。

※2「家督相続」

戸主（戸籍上の家長）が死亡・隠居したときにその地位や財産を次の戸主が一人で受け継ぐ単独相続のこと。通常、長男が独占的に承継した。第二次世界大戦後、現行の民法が制定されるまではこの形態が相続の中心であった。

図4：遺産分割の相手方

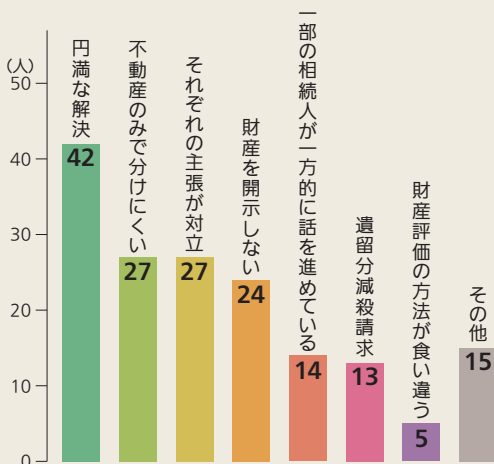
家督相続は過去の話で、現在では法定相続がスタンダードだが、依然として兄弟姉妹の間ではもめがち。



○株式会社夢相続の面談で遺産分割に関する内容（平成19年～21年）

図5：遺産分割の相談内容

円満な解決を望んではいても、さまざまな理由で争いとなってしまうのが現状。



○株式会社夢相続の面談で遺産分割に関する内容（平成19年～21年）

考えも変わってきました。それだけに、亡くなった人の意思が見えない場合、相続を受ける人は迷い、権利を主張することになり、争いに発展してしまうのです。

ここで知っておいていただきたいことは、「争いになるのは財産の多い・少ないではない」(図5)ということ。不動産が自宅だけで分けられない場合や特定の相続人が財産を隠して教えない場合など、相続税の基礎控除内の財産で申告が必要でない場合の方が、深刻な争いになり、いつまでもまとまりません。

相続で失うものは財産だけではない

有形の(目に見える)財産を残すことは、残された人にとっては確かに大きな価値があります。しかし、財産を残すだけでなく、身内の争いを残さないことも精神的には大きな財産になると考えています。

目に見える財産にこだわらなあまり、いつまでも身内で財産の分け方をめぐって争っていたのでは誰の得にもなりません。そこでわたしたちは、「もめない」という財産の方を

選択するような提案をします。

相続税の経済的な負担も大変ですが、親族間の遺産争いや感情的なしこりは金銭に換えがたいダメージとして残ります。経済的な負担も残り、感情的なしこりも残った上に、頼りの親族が一致団結してそれに立ち向かうどころか、もはや他人より悪い関係になってしまったとしたら、相続によって失う物は財産だけではないのです。

相続のしこりを残さない解決が大事

相続人の考えで、家を継がない人や嫁いだ人には財産を分ける必要がないと押し切る場合も多く見られます。財産を分けたくない、生前贈与をプンにしない、生前贈与を知られたくないというところでしょう。しかし、経済的な不利益よりも、そういった態度をとったことにより、身内の中に疑心暗鬼を生じさせてしまうことの方が深刻な問題ではないでしょうか。ことによると、一生悔いやしこりが残るといふことにもなりかねません。自分の権利を主張する

ばかりではなく全体像を知ること逆にならざることもあります。「円満な相続ほどうまい無理だ」と諦めてしまうよりも、できるだけ悔いを残さない解決をしておくことが大切です。

相続の用意をすることは権利であり、義務でもある

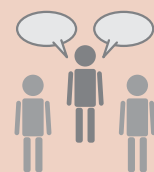
多くの相続を見てきた経験では、生前から話し合いをしていたり、配慮された遺言があったりと故人の「意思が見える」とときには、家族は争うこともなく、まとまっています。形のある財産を残すことはもちろん大切ですが、それよりも「争わない相続を用意する」(「家族に争いや不幸を残さない」)ことの方が大事だと痛感させられます。

残された相続人のためにも、「何を残せるのか」、「何を残してはいけないのか」を整理し、考えてみるのが大切です。自分の意思を残すことは、財産を持つ人の権利であり、義務でもあると言えます。そして最良の説得材料となり、価値ある相続となるのではないのでしょうか。

円満な遺産分割協議のポイント

代表者が公平な立場で話し合いを進める

一方的な進め方は、こじれる原因になってしまいます。



財産は隠さず全部オープンにする

オープンにすることで、身内の信頼関係を保つことができます。



寄与や特別受益も考慮して互いに譲歩が必要

一歩も譲らず、ではまとまるものもまとまりません。

感情的な話は持ち出さない

過去のことは持ち出さず、みんなにとって前向きな話し合いをしましょう。



必要以上に責め合う場にならないよう配慮する

一言が一生許せなくなり、縁が切れてしまう事態にも…。



「本人の意思」が最大の説得材料。意思を残すことは権利であり、義務でもあるのです。

「お金」を通してFFGと考える

「備えあれば憂いなし」

30代前半の会社員F子さんは、近々結婚を控え、これからの将来設計やお金との付き合い方について銀行に相談にやってきました。

今まで「少子高齢化問題」には

あまり関心はありませんでしたが、

実は自分にもかかわりのある問題だと気づき、

少し不安が湧いてきたようですが…。



福岡銀行 営業推進部
本店コンサルティングフロア
長谷川 泰三

F子 わたしの両親は最近定年を迎えたのですが、実は母が結婚のためのお金をそっと貯めてくれていたんです。でも、将来のわたしにはそんな余裕あるかしら？

長谷川 素敵なお母さまですね。「少子高齢化」の一因とも言われる晩婚化が進むと、子どもの大学卒業の頃に両親はもう年金生活というケースも増えてきますから、親を頼りにするのは難しくなるかもしれませんね。「少子高齢化」は、次の若い世代にも影響を与えているんですよ。

F子 子どものためにも、しっかりと将来設計を立てておかなければ。

長谷川 そうですね。結婚、住宅・車

の購入、子育て、セカンドライフ、両親や配偶者の介護…F子さんのライフステージを思い描いてみることで、どれだけのお金が必要なのか見えてきます。そのライフイベントに向けて計画的にお金を蓄えることが必要です。

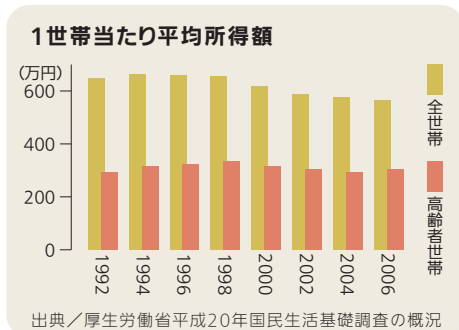
F子 お金を「貯める」のは、なかなか難しいです。毎月、余った貯金しようと思うのですが…。

長谷川 やりくりの基本は「貯蓄は給料から先取り」です。まず大切なことは、1年間でいくら貯蓄するかを決め、毎月の積立額を決めます。そして、残ったお金の範囲内で生活するクセをつけてみませんか？一般

的なものだと、お給料やボーナスから天引きされる財形貯蓄などがありますし、毎月一定額を貯めていく積立預金などもいいですね。

F子 それならわたしにもできそうだけ。本首を言えば、貯めるだけじゃなくって、**お金が「殖えて」くれる**といいな。欲張りかしら？

長谷川 グラフのように、所得は減少し続けているのが現状ですから、少しでも殖やしたいと思うのは欲張りなことではありませんよ。働いて得たお金は眠らせたままではなく、せっかくなので「お金にも一緒に働いてもらう」という考え方はいかがでしょうか？



F子 「資産運用」ということでしょか？リスクが伴うとよく聞くので、値動きがない預金が一番安全だと考えてしまいます。

長谷川 しかし、もし今後物価が上昇するようなことがあれば、その預金の価値は実質的には目減りすることもあります。

F子 ということは、「満期時の受取元利金が確定している」と自体が逆にマイナス要素になってしまいますね。

長谷川 預貯金が悪いということではありませんよ。大切なのは、資産

の性格に合わせてお金を運用するということです。「資産の三分法」という考え方がありますが、これは、資産を次の3つに分けます。

- ① 普段使うお金・生活費
- ② 目的・使い道が決まっているお金
- ③ 将来のために殖やす・備えるお金

F子 ①は必要最低限のお金ですし、できれば②も確保しておきたいです。

長谷川 はい、①は、いつでもすぐ使えること、つまり流動性が大切です。これは普通預金で準備しておきたいお金です。そして②は、安全性・安定性の高い運用をすることが肝要です。

F子 例えば、国債などですか？

長谷川 そうですね、国債や市債などの公共債のほか、預貯金も立派な運用の一つですよ。

F子 わたしが殖やしたいと考えているのは③です。リスクについても少し教えてください。

長谷川 資産形成の世界では、リスクというのは「投資した元本の価格変動のブレ幅」のことを言います。リスクが大きい商品は高い収益が期待できる一方、大きな損失になる可能性があります。逆にリスクの小さ

い商品は大きな損失となる可能性が低い一方、期待できる収益も低くなります。リスクを完全になくすことはできませんが、専門家に相談して自分の目的やリスクの性格を良く知ることです。うまく付き合っていくことはできますよ。

F子 では、「備える」というのはどういうことなのでしょう？

長谷川 例えば将来の旦那さまやF子さんに病気や事故など、「もしも」のことがあったらどうなるのでしょうか？

F子 どうしたらいいかわかりません。とても心配です。

長谷川 「もしも」のときに慌てないためには、そういった心配に「備える」ことがとても大事です。例えば、生命保険や火災保険、地震保険など、心配に応じて相談してみてください。
F子 心配といえば、両親を見ていると年金や介護のことも気にかかります。「長生きのリスク」とよく聞きます。

長谷川 確かに、無事に老後生活を迎えられると、この「少子高齢化時代」においては、昔のような「余生」とは少し勝手が違うようです。ゆとりあるセカンドライフのための資産形成もこれからの時代の課題です。だからこそ、そのために「備える」ことのできるセカンドライフを楽

「長生き時代」を安心して迎えたい

病気で働けなくなったらどうしよう

備え貯めれば殖え遺る

個人年金保険

医療保険・がん保険
 ことも保険 など

「結婚資金」
 「マンションの頭金」
 「教育資金」
 どうやって貯めたらいいの？

定期預金
 積立定期預金
 一般財形預金
 財形住宅預金
 財形年金預金

収入には限りがあるけれど、必要なお金は限りがない…

公共債
 投資信託
 外貨定期預金

家族に何を遺してあげたらいいんだろう

終身保険
 生命保険
 遺言信託

しんで欲しいですね。年金が不安であれば、「年金保険」といって自分で年金を作ることでもできるんですよ。

F子 最近、高齢の祖母が病気をしたので、「F子にもなにか遺してあげたい」と言ってくれました。大事には至らなかつたのですが、「遺す」ということについて考えさせられました。

長谷川 お母さまといい、おばあさまといい、ご資産に対してとても前向きにお考えですね。いい習慣だと思いますよ。さきほど保険の話をしました。ですが、保険を活用することで、ご自身のお金に「宛名」をつけておくことができます。受取人を指定することができ、遺したい方

に遺すことができます。今日は、「貯める」「殖やす」「備える」「遺す」という4つのキーワードでお話をしましたが、もちろん、すべてがF子さんにとって正解、というわけではありません。F子さんが選ぶ人生によって、必要なお金も変わりますし、お金の付き合い方も変わります。大切なことは、家族やパートナーと一緒に、ご自身のライフプランをしっかりと見つけ、それに合ったマネープランを立てることです。銀行では、これらのご相談をお客さまと一緒に総合的に考え、ご提案できる商品やサービスがあります。分からないことや不安に感じることなどがあれば、何でもお気軽にご相談ください。

投資信託・公共債・個人年金保険・一時払終身保険・外貨定期預金に関する留意点 ■ご検討にあたっては、「商品パンフレット」「投資信託説明書(交付目論見書)」「契約締結前交付書面(契約概要・注意喚起情報)」などを必ずお読みください。「商品パンフレット」「投資信託説明書(交付目論見書)」「契約締結前交付書面(契約概要・注意喚起情報)」などは各店頭にご用意しています。■投資信託・公共債・個人年金保険・一時払終身保険等は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。また、福岡銀行・熊本ファミリー銀行・親和銀行で取扱う投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。■外貨定期預金は預金保険の対象ではありません。■福岡銀行・熊本ファミリー銀行・親和銀行は投資信託の販売会社であり、設定・運用は運用会社が行います。■福岡銀行・熊本ファミリー銀行・親和銀行は保険の募集代理店です。保険の引受は行っておりません。■投資信託・個人年金保険・一時払終身保険等は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。■個人年金保険・一時払終身保険については、引受保険会社が破綻した場合には、生命保険契約者保護機構の保護措置の対象になりますが、ご契約の際にお約束した年金額・給付金額等が削減されることがあります。■商品によっては国内外の株式や債券などに投資しているため、投資対象の価格、金利の変動、為替の変動、発行者の信用状況の変化などで変動し、投資元本を割込むことがあります。■投資信託・個人年金保険・一時払終身保険・外貨定期預金等には各種手数料や費用などが掛かります。またその手数料及び費用などは、商品ごとに異なり、事前に料率および計算方法などを示すことができません。詳細は、「投資信託説明書(交付目論見書)」「契約締結前交付書面(契約概要・注意喚起情報)」などをご覧ください。

販売会社情報		
商号等	株式会社福岡銀行 登録金融機関	株式会社熊本ファミリー銀行 登録金融機関
登録番号	福岡財務支局長(登金)第7号	九州財務局長(登金)第6号
加入協会	日本証券業協会	日本証券業協会

ライフステージと FFGの商品& サービスラインナップ

FFGは、個人のお客さまの
ライフステージに合わせ、

さまざまなニーズに幅広くお応えできるように、
便利な商品・サービスをご提供しています。

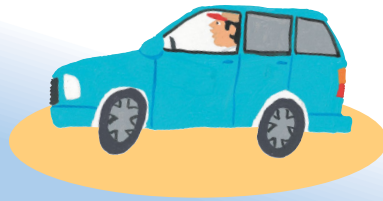
- 3行ともお取引のある商品&サービス
- 福岡銀行でのお取扱い
- 熊本ファミリー銀行でのお取扱い
- 親和銀行でのお取扱い

- **ご預金**
- スーパー定期預金(スーパー定期300)
- ミックスパック
- 積立式定期預金「ためるくんKIDS」
- パースデー定期
- 資産運用など
- 投資信託
- 公共債
- 外貨定期預金
- 平準払個人年金保険
- **福岡銀行**
- 医療保険・がん保険
- 定期保険
- 収入保障保険
- 終身保険
- 子育て保険

あなたに
赤ちゃんが生まれるとき



30代



あなたが
学校へ行くとき



20代

あなたが
車を買うとき

あなたが
会社で働くとき



10代

あなたが初めて
通帳を持つとき

● **ご預金**
普通預金



結婚資金
結納・婚約から
挙式・新婚旅行まで
九州平均 約428.9万円
(全国平均約433.2万円)

結婚情報誌「ゼクシィ」(リクルート発行)調べ
「結婚トレンド調査2009」～平成21年～

お子さまのご進学資金
私立大の学費は国立大の約2倍

(大学昼間部の学費年額平均)

国立大 約**65万円**
私立大 約**132万円** +生活費^{※1}

独立行政法人 日本学生支援機構「平成18年度学生生活調査」

※1. 自宅通いの場合約35～40万円、学寮の場合
約60～80万円、下宿などの場合は約100～
110万円の生活費がかかる。

- **ご融資**
- ニューオートローンDX
- フリーローン
- 「ナイスカパー」
- サービス、その他
- ETCカード

- **ご預金**
- 総合口座
- 一般財形預金
- 財形住宅預金
- 財形年金預金
- 積立式定期預金「ためるくん」
- 資産運用など
- 積立型投信
- サービス、その他
- 給与振込
- アレコレカード
- ポイントくらぶマイバンク
- 公共料金自動振替
- 外貨両替
- ダイレクトバンキングサービス
- (テレホン・インターネット・モバイル)
- インターネット専用口座「ネットワン」
- **福岡銀行**
- iアプリバンキング(モバイル)
- Edyチャージサービス(モバイル)
- 外貨両替予約販売サービス(インターネット)
- **熊本ファミリー銀行**
- 外貨両替予約販売サービス(インターネット)



※投資信託・公共債・個人年金保険・一時払終身保険・外貨定期に
関する留意点は12ページをご参照ください。

(商品・サービスは2010年1月4日付)



住宅購入資金
住宅の平均購入価格は世帯年収の約5倍
住宅金融支援機構「平成20年度フラット35利用者調査報告」
全国平均 約2,965.7万円 ※2
注2. 注文住宅融資利用者のうち、土地取得のための借入れのない方が購入した平均価格。



- 融資
 - 住宅ローン
 - リフォームローン
 - サービス、その他
 - ローンセンター・ローンプラザ
 - 住宅ローン休日相談会
 - 長期火災保険
- 福岡銀行
 - ふくぎんリプラ
 - ライフコンサルティング(保険の見直し)

60代

あなたが
趣味を楽しむとき

あなたが
のんびりできたとき

あなたに孫が
生まれるとき

50代

あなたの子どもが
結婚するとき

40代

あなたの子どもが
学校へ行くとき



- 退職金
 - 大口定期預金
 - 退職金専用定期預金
 - 変動金利定期預金
 - 定期預金「夢いっぱい」
 - 退職金専用ミックスパック
 - 資産運用など
 - 一時払終身保険
- サービス、その他
 - 資産運用セミナー
 - 年金セミナー
 - 年金受取
- 福岡銀行
 - よか余暇くらぶ

- 資産運用など
- 個人年金保険
- 融資
 - 学資ローンDX
 - サービス、その他
 - 自動送金サービス
 - 外国送金
 - 貸金庫
 - 年金受取
 - 予約サービス「夢プラン」
- 福岡銀行
 - 住宅セミナー

退職金
60歳で定年退職した場合
平均 約2,417万円 ※3
(社)日本経済団体連合会「2008年9月度 退職金・年金に関する実態調査結果」～平成20年～
※3. 管理・事務・技術労働者・総合職・大卒を標準とした場合。

福岡銀行の本店が生まれ変わりました!

平成21年10月19日、福岡銀行本店営業部はお客様さまのさまざまなご要望にお応えできるように、FFGのリテール営業の旗艦店として、**もっと便利に、もっと快適に、もっと機能的に**生まれ変わりました!



4F プライベートバンキングフロアなど相談ブースを中心とした「プライベートバンキングフロア」の他、「セミナールーム」も新設しました。資産運用から趣味に至るまで、幅広い分野のセミナーを開催しています。

2F ローンセンターなど
ローンセンターや個人のお客様お振込・税金納付窓口、法人のお客様窓口を設置しています。また、グループ会社である前田証券天神営業部もオープンしたことで、銀行商品以外に証券取引もご提供できる体制が整いました。

1F コンサルティングフロア
個人のお客様専用の「本店コンサルティングフロア」として、預金や外貨両替、相談窓口を配置しています。予約制で土曜日営業も開始し、お客様へのサービス品質と利便性のより一層の向上を実現します。

金融のワンストップサービス拠点を実現

個人相談ブースも充実

拝啓 企業さま

FFGは企業のライフサイクルに合ったサービスを「ご提案」します。

人が成長するように、企業も成長します。

FFGは企業の成長に合わせて最適なサービスをコーディネート致します。



創業期

【創業期】創業・新事業支援

九州経済の基盤となる産業育成を目的とした創業・新事業支援は、地域活性化のために非常に重要です。

FFGでは、大学・企業・行政機関との連携を一層強化することでグループネットワークを拡充し、創業間もない企業への研究開発・技術支援など、多方面からのサポートを行っています。

成長期

【成長期】【成熟期】企業ニーズに合致した資金供給・融資手法の提供

お客さまの抱える資金調達や経営、財務上の課題は多種多様になってきています。

FFGでは、シンジケートローン・ノンリコースローンなどの金融商品に取組んでいるほか、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資として債権動産担保融資に取組むなど、お取引先のニーズに合った資金調達の方法をご提案しています。



九州・山口地域企業育成基金(略称キューテック)は、福岡銀行が創立40周年を記念して設立した財団法人です。当財団では、年々高まる企業の新技術、新製品などの研究開発ニーズに対する「研究開発資金」および「人材育成資金」の助成や情報提供などに取組んでいます。



ABLとは、不動産担保や個人保証に過度に依存せず、お取引先の事業価値そのものに着目し、事業に基づいたさまざまな資産(原材料や商品、売掛金など)価値を見極めて融資を行う手法です。

ABLにより、お取引先と銀行とが、担保資産の状況や業績に関する情報を互いに共有することが可能となり、信頼関係も強化されることから、FFGはABLの活用積極的に取組んでいます。特に、福岡銀行は、関連会社のサポートを活用した新しいABLスキームを構築し、これまで対応が難しかった小口のABLへも取組んでいます。



FFGがいつでも強力サポート

FFGでは、多様なメニューで法人のお客さまを強力にサポートしています。

法人向け インターネットバンキングサービス

インターネットを通じて、振込・振替、税金・各種料金の払込、残高照会や入出金明細照会、さらには外国送金や輸入信用状開設などがご利用いただけるサービス(有料)です。オフィスにいながら、さまざまな銀行取引が行えますので経理事務の効率化・省力化に繋がります。



確定拠出年金(401K)業務

福岡銀行および親和銀行では、企業型401Kを取り扱っています。これは、平成24年3月末に廃止となる適格退職年金の受け皿としてのご相談が増え、企業のお客さまの退職金制度・福利厚生の充実に伴うニーズに対応する必要があります。大手生命保険会社などと業務提携しながら、お

転換期 再生期←衰退期

【転換期(衰退期→再生期)】
経営改善支援
(事業承継・事業再生)

少子高齢化の中、事業承継は地元中小企業にとって重要な経営課題となっており、円滑な事業承継は継続的な地域社会の発展からも必要不可欠なものと考えます。

福岡銀行はこうしたニーズに応えるため、専門部署を設け、課題解決に向けた支援体制を構築しています。

また、事業再生についても、FFGではコアバンクである福岡銀行に組織・人財・ノウハウを結集させることで、情報を一元化して意思決定を迅速化し、同行が持つ先端金融手法やソリューション機能などの質の高い再生支援メニューを迅速かつ的確に提供できる体制の構築を進めています。

ビジネス
マッチング

事業再生支援

経営改善支援・
コンサルティング

事業承継支援

少子高齢化の中、事業承継は地元中小企業にとって重要な経営課題です。

FFGでは、後継者不足など資本政策上の問題に悩むお取引先のニーズにお応えするため、お取引先企業向けに事業承継セミナーを開催し税理士専門家を紹介するほか、自社株評価や承継対策計画の提案も行っており、その支援体制を高度化しています。

FFGでは、経営者の方々とのリレーション強化を図りながら、お取引先企業の課題・問題点を洗い出し、改善の必要性の認識を共有して、経営改善に向けた取組みを支援しています。



FFGビジネスコンサルティング(FFC)が 企業の事業ライフサイクルに沿って強力にサポート！

FFCは、FFGグループ3行のお取引先に対して、ビジネスの発展を強力にバックアップするために設立されたFFGのグループ会社です。

談会・交流会を開催しています。また、提携大学との連携によるお取引先の技術相談サポート、各種セミナーや就職説明会なども実施しています。

の中小企業診断士を活用し、外部の専門家や監査法人などと連携して、中小企業のお客さまの経営改善・事業再生を積極的に支援しています。



フード・アグリアイランド九州2009



各種セミナーの開催や提携大学との連携事業

FFCへの
お問合せは 電話 092(723)2244

中小企業のお客さまの 資金ニーズにお応えしています。

FFGでは、九州経済発展の基盤となるお取引先企業、特に中小企業のお客さまとの結びつきをより深く強いものにしたいと考えています。

平成20年10月から信用保証協会が取扱いを開始した「原材料価格高騰対応等緊急保証」を中心に、企業の実態を踏まえた適切な融資の推進、債権動産担保融資(ABL)への取組み、企業のライフサイクルに沿ったトータルサポート体制の構築など、お客さまの資金ニーズにお応えするためのさまざまな手法でサポートを行っています。

お客さまのニーズに合ったご提案をさせていただきます。

国際業務サポート

九州ではアジアなどを中心に海外各国との関係が深まっています。

FFGでは、海外で事業を展開されているお取引先向けに、外国送金をはじめ「貿易実務や「商品の仕入先・販売先に関する情報、また取引企業の概況や信用情報(二部有料)」の提供などの貿易サポートを行っています。

また、今後海外進出をお考えのお取引先に対し、現地法人・工場設立などを、FFGの海外事務所・支店・本部が一体となって支援させていただきます。

今後も、海外の投資環境に関するさまざまな情報を発信し、提携のコンサルティング会社を通じてより専門性の高いサポートを行うことで、お取引先の幅広い海外取引ニーズに積極的に対応いたします。

※FFGの海外ネットワークについては、33ページをご参照ください。



上: 上海食品商談会、下: 大連チャレンジショップ

インターネットバンキングのグレードアップ版！ インターネット専用口座 「Net-One(ネットワン)」

Net-One(ネットワン)

口座は、通帳を発行しないインターネット専用の口座です。現金の払出しなどはキャッシュカードを使用してATMで、残高・入出金明細照会、振込、振替、定期預金などはインターネットバンキングで取引する「新しいスタイルの口座」です。

既にお持ちの口座からの「一括申込み」と「新規口座開設」のお申込みができます。

更に、通帳を発行しないインターネット専用口座を多くのお客さまにご利用いただくことで、地球環境にもやさしく紙資源の節約に繋がる「エコ」口座でもあります。

入出金明細照会が13ヶ月!!

なんと入出金明細が日付指定で最大過去13ヶ月※2(上限300明細)までチェックできます!!
取引明細をCSV形式ファイルでダウンロード、保存。もちろん印刷もできます。

デザインが選べる!!

6種類※1の中から気分に合わせてデザインがご選択できます。

例えば
ホークスファンなら...

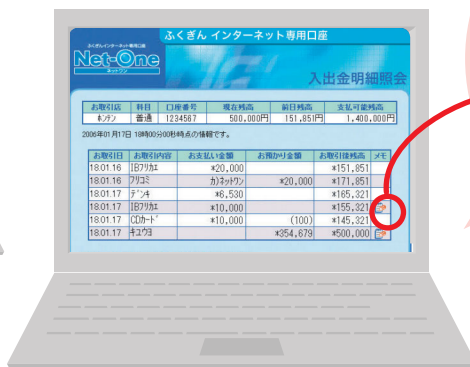
お取引日	お取引内容	お支払金額	お預り金額	お取引残高
180116	ATM	¥20,000		¥151,851
180116	ATM		¥20,000	¥171,851
180117	ATM	¥10,000		¥161,851
180117	ATM		¥100	¥161,951
180117	ATM		¥500,000	¥661,951

フリーメモが便利!!

明細毎にフリーメモが入力できます。



親和銀行



福岡銀行



熊本ファミリー銀行

「電子メール通知サービス」で口座管理をサポート!!

ネットワン口座ならATMからの支払いや振入金があった場合に電子メールでお知らせします。万が一、不正取引にあった場合の早期発見にも役立ちます!!

予約「振替・振替」が便利!!

翌営業日はもちろん31営業日先までの予約が可能です。

もちろん!
モバイル
バンキングも
ご利用
できます。



かんたん カレンダー※3が便利!!

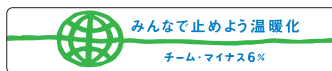
メモ入力ができスケジューラーとしても利用できます。



わたしは「Net-One」で、かじりく便利なeCO(ネットワン)

インターネット専用口座

※1:デザインパターンは季節などにより銀行側で変更する場合があります。
※2:入出金明細の照会期間は、ネットワン口座登録日、インターネットバンキング契約日、サービス指定口座の登録日などにより、口座毎に異なります。
※3:過去6ヶ月、未来12ヶ月のカレンダーがご利用いただけます。



FFGは、チーム・マイナス6%に参加しています

僕はインターネット投信を、スマートにenjoy

インターネットでも投資信託の取引や資産残高の照会ができるのをご存じですか？

インターネットなら、好きな時間にお取引のお申込みが可能なので、ご自宅できつくりと投資プランをご検討いただけますし、投資のタイミングを逃すこともありません。また、投資しているファンドの状態をいつでも確認できるので大変便利です。

毎月一定金額を積み立てていく積立型投資信託もご利用いただけますので、これから資産運用をはじめようという方にもピッタリです。

更に！インターネットで投資信託（積立型投資信託は除きます）をご購入いただくとお申込手数料が10%割引（注1）になります。

インターネットでの投資信託のお取引をはじめるとは、事前のお申込みが必要となりますので、営業店にてお手続きください。



POINT 1
インターネット投信では
ご自宅のパソコンで
新規購入 追加購入
解約・買取
スイッチング
のお取引ができます

POINT 2
ご購入いただいた
投資信託のご投資状況を
タイムリーに
チェックできます！

POINT 3
好きな時間に
取引可能！
※システムメンテナンスの
時間帯（注2）はご利用
いただけません

ご利用いただくには「ダイレクト投信会員」のお申込みが必要です。最寄りの各銀行の本支店にてお申込手続きをお願いいたします。
（注1）●インターネットバンキングで投資信託をご購入の場合、窓口・テレホンバンキングでのご購入に比べてお申込手数料を10%割引とさせていただきます。●積立型投資信託は対象外とさせていただきます。●親和銀行では、平成22年1月4日から取扱いを開始します！（注2）①毎日午前3時～午前5時 ②毎週月曜日の午前3時～午前7時 ③年末・年始（12月31日午後5時～1月4日午前8時） 平成21年12月末日現在

投資信託に関する留意点 ■ご検討にあたっては、「商品パンフレット」「投資信託説明書（交付目論見書）」等を必ずお読みください。「商品パンフレット」「投資信託説明書（交付目論見書）」等は福岡銀行・熊本ファミリー銀行・親和銀行の本支店等にご用意しています。■投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。また、福岡銀行・熊本ファミリー銀行・親和銀行で取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■福岡銀行・熊本ファミリー銀行・親和銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行います。■投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。■投資信託は、国内外の株式や債券等に投資しているため、投資対象の価格が、金利の変動、為替の変動、発行者の信用状況の変化などで変動し、基準価額が下落することにより、投資元本を割込むことがあります。■投資信託には手数料等がかかります。ご購入から換金・償還までの間に直接又は間接にご負担いただく費用には以下のものがあります。＊申込手数料、＊換金手数料、＊信託財産留保額、＊信託報酬、＊監査費用・有価証券売買手数料等その他費用、以上の費用を足し合わせた金額をお客様にご負担いただきます。申込・換金時の手数料及び信託報酬等は、投資信託ごとに異なります。また、その他費用は運用状況により変動します。したがって、事前に料率および計算方法等を示すことができません。詳細は、「投資信託説明書（交付目論見書）」等をご覧ください。

インターネット投信購入に関するご注意 ■インターネットバンキングでの投資信託取引は、原則20歳以上の方に限らせていただきます。■インターネットバンキングで投資信託取引をご利用いただくにはインターネットバンキングのお申込と「投資信託振替決済口座」および「投資信託指定預金口座」をサービス指定口座として事前登録することが必要です。「投資信託振替決済口座」のご登録は営業店窓口のみのお取扱いとなります。■インターネット投信では、1取引1億円以上のご購入はできません。また同一日に同一ファンドを複数回購入することもできません。■平日14時までにお取引が完了したものが「当日扱い」取引となります。平日14時以降および銀行休業日のお取引は全て「翌営業日扱い」となります。■福岡銀行・熊本ファミリー銀行・親和銀行は、お客さまの投資についての知識、経験、目的および資産の状況等を踏まえ、お取引をお断りさせていただく場合や営業店窓口でのご相談を案内する場合があります。

販売会社情報

商号等	株式会社福岡銀行 登録金融機関	株式会社熊本ファミリー銀行 登録金融機関	株式会社親和銀行 登録金融機関
登録番号	福岡財務支局長（登金）第7号	九州財務局長（登金）第6号	福岡財務支局長（登金）第3号
加入協会	日本証券業協会	日本証券業協会	日本証券業協会

サービスの詳細・お申込方法は各行にお問合せください。

ホームページアドレス

福岡銀行
<http://www.fukuokabank.co.jp/>
熊本ファミリー銀行
<http://www.kf-bank.jp/>
親和銀行
<http://www.shinwabank.co.jp/>

テレホンサービスセンター

ふくぎんテレホンサービスセンター
0120-788-321
熊本ファミリー銀行テレホンサービスセンター
0120-189-066
親和銀行テレホンサービスセンター
0120-122-312 【ご注意】H22.1/4以降からご利用いただけます。

いずれも、受付時間/平日9:00～20:00（銀行休業日は除きます）携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

CSRレポート 2009

Corporate Social Responsibility Report 2009

ここからは、FFGのCSRについて少しお話しします。

CSRとは「企業の社会的責任」のこと。

FFG流に分かりやすく言い換えると、CSRとは

「FFGをとりまくすべてのステークホルダーがFFGに対して抱く期待に応えていくこと」です。

ステークホルダーには、株主やお取引先、お客さまはもちろんのこと、

地域社会や行政、メディア、そしてFFGの従業員も含まれます。

これらすべての人々の期待に、バランスよく応えていくことが

わたしたちFFGの使命・責任です。

その使命・責任を果たしていくことで、よりよい社会の実現と、

FFGの持続的な発展に繋がるとFFGは考えます。

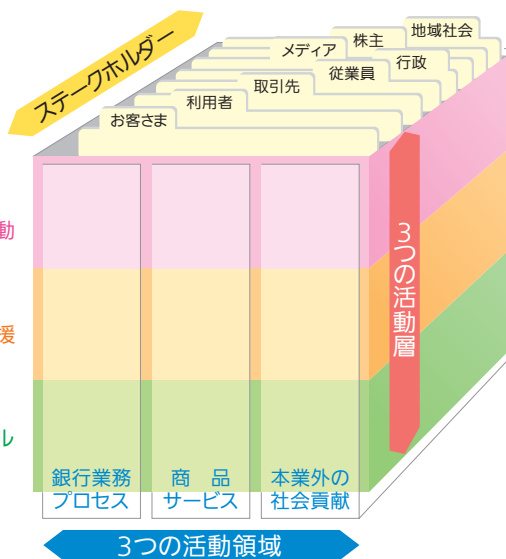
CSR CUBE

3つの活動領域と 3つの活動層の 組み合わせ

活動層Ⅰ
環境共生活動

活動層Ⅱ
生涯学習支援

活動層Ⅲ
ユニバーサル
アクション



活動層Ⅰ 環境共生活動



地球に負の影響を及ぼす環境負荷の抑制・軽減に努め、環境保全に資する商品・サービスを提供します。

活動層Ⅱ 生涯学習支援



すべての人々のライフサイクルに応じたさまざまなシーンで、金融知識の普及を通じた生涯学習を支援していきます。

活動層Ⅲ ユニバーサルアクション



店舗や商品・サービス、窓口での対応などさまざまな面において「みんなにやさしい」アクションを展開します。

銀行業務プロセスによるCSR



コーポレートガバナンス、法令遵守、各種リスク管理、情報開示といった企業経営の根幹となる態勢構築・整備をはじめ、従業員の雇用や自らの環境負荷軽減活動などといった、銀行業務の全プロセスにかかわる取組み。

銀行の商品・サービスによるCSR



銀行のもつ金融機能を活用して、社会的に意義ある商品・サービスを開発・提供する取組み／金融ビジネス。

本業外の社会貢献によるCSR

本業とは直接的な関係は薄いですが、経営資源を活用して、社会的課題に関与する取組み（ボランティア、芸術文化活動など含む）。



環境共生活動

Promotion of
Environmental
Harmony

FFGのホームグラウンドである九州の豊かな自然は、私たちの宝。
だから、FFGは環境負荷の抑制・軽減に努め、環境に配慮した商品・サービスを提供します。

地域と共に歩む金融機関として

地域金融機関としての環境への責任

FFGにも、その基盤である九州の環境への責任が問われています。そのためには、自らの環境への負荷を抑え、軽減していくことはもちろんのこと、「金融」が持つ役割・機能を通じて環境保全に繋がる商品やサービスを積極的に提供していきます。

平成21年4月、FFGはグループ共通の環境方針を定め、環境マネジメントシステム(EMS)を構築しました。これに基づき、今後はCO₂削減目標などを定め、役員全員でエコアクションを展開していきます。まずは毎週の清掃活動など身近なところから取り組みを始めています。

FFGの環境方針4つの柱

- ① EMSの継続的実施
 - 地域の環境保全のために、目標を設定し、具体的な活動を通じて達成を目指します。
 - 活動を評価し、必要な見直しを行うなど、環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
- ② 本業を通じた環境面への取り組み
 - 本業を通じて環境活動の側面からも地域貢献に努めます。
- ③ 環境配慮活動の実施
 - 省エネ・省資源活動への取組みおよび環境保全に配慮した社会貢献活動の実践により、環境への負荷軽減に努めます。
- ④ 全従業員への周知と徹底
 - 本方針を当グループ全従業員が認識し、一人ひとりが環境問題について考え、自主的に行動し、改善活動を実践していきます。

地球温暖化防止への取り組み

ISO認証維持

熊本ファミリー銀行はさまざまな環境問題への取組みを行い、平成17年9月には環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得、平成20年9月に更新いたしました。

「エコってカエル」活動展開中!

FFGでは、エコロジ活動の推進とメリハリのある勤務体制の実現のため、「エコってカエル」活動をスタートさせました。

福岡銀行と熊本ファミリー銀行は、毎月第2・3水曜日を全行一斉消灯・退行日と定めて、CO₂および消費電力の削減に取り組んでいます。また、この日は「一人ひとりが必ず最低一つのエコアクションを起こす!」をスローガンに、移動にエレベーターを利用しない、両面印刷を励行するなど各人が目標を定めて実践しています。

地球温暖化防止に寄与で感謝状

FFG本社ビルは、周辺の豊かな環境を守るため、環境負荷低減・自然エネルギーの利用に取組んだ、環境にやさしいオフィスビルです。平成21年7月、財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターから、

地球温暖化防止に寄与する「ヒートポンプ・蓄熱システム」の普及・拡大に貢献している企業として71企業・31団体が選ばれ、FFGにも感謝状が贈られました。

エコアクション・ポイント事業への参加

FFGは環境省の推進する「エコ・アクション・ポイント事業」に参加しています。この取組みは、省エネ商品やサービスを購入・利用した際に、それに応じたポイントが貯まるサービスで、ポイントは多種多様な商品と交換が可能です。

九州地区では、この4月からFFGビジネスコンサルティングと株式会社JCBが共同でこの「エコ・アクション・ポイント」を運営しており、今後も参加企業を増やしていく予定です。

クールビズ・ウォームビズの定着化

政府および環境省が推進する気球温暖化防止のための国民運動「チーム・マイナス6%」の主旨・活動内容に賛同し、FFGグループ全体で参加登録して

います。クールビズ・ウォームビズも定着し、従業員一人ひとりの環境への意識も高まっています。



Lifelong Learning Support 生涯学習支援

FFGはすべての人々のライフサイクルに応じたさまざまなシーンで、金融知識の普及を通じた生涯学習を支援していきます。

地域のみなさまの豊かな感受性をはぐくむサポート

文化や芸術を肌で体感する機会を

地域のみなさまに、文化や芸術、スポーツなどをもっと身近にお楽しみいただけるよう、FFGではさまざまなイベントを開催したり、協賛・支援などを行ったりしています。

毎年定例となっているニューイヤークンサートを始め、福岡銀行では「ポリシヨイサーカス」や「博多・天神落語まつり招福寄席」に福祉施設の方をご招待しています。

熊本ファミリー銀行でも毎年「ママさんバレーボール大会」や「女声合唱フェスティバル」などの協賛を行い、地域の文化・スポーツ活動を支援しています。

親和銀行でも創業130周年記念事業の一環として所蔵美術品の一般公開を外部施設（長崎・平戸）で初めて行ったほか、昨年に続き長崎県主催の「ながさき音楽祭2009」に特別協賛しました。



親和銀行
「ながさき音楽祭2009」



熊本ファミリー銀行
「ママさんバレーボール大会」



福岡銀行
「博多・天神落語まつり 招福寄席」

金融を通じてのライフサポート

個人向け会社説明会を3県4地区で開催

福岡・熊本・佐世保・長崎4地区において、個人投資家の方々を対象としたFFG設立後初めてとなる個人向け会社説明会を開催しました。FFGグループの戦略などについてのご報告や、協賛の野村證券の投資セミナーも開催され、ご出席いただいたみなさまにはご好評をいただきました。今後も、株主・投資家のみなさまとの大切な接点の一つとして定期開催を予定しています。

お客さまの金融知識をサポートするセミナー

お客さまに金融についての正しい知識を身に付けて合理的な判断をしていただけるよう、豊富なセミナーを開催しています。

福岡銀行では、平成21年10月にリニューアルオープンした本店ビル4階のセミナールームやリプラ北九州を中心として、投資信託の運用報告会を始め、年金・保険・住宅など無料のセミナーを開催しています。また、金融商品・サービス以外にも、マナーや美容レッスンといった趣味や健康など生活に関する情報についても多様なセミナーメニューを展開しています。熊本ファミリー銀行や親和銀行でも、資産運用などのセミナーを開催していますので、是非お気軽にお尋ねください。



ふくぎんリプラ西新町・リプラ天神町の閉鎖について information 1

住まいとお金の情報スペースとして、みなさまにご利用いただいております「ふくぎんリプラ西新町・リプラ天神町」は、平成21年9月30日をもって閉鎖となりました。

お客さまの個別のご相談、建築士サービスや無料セミナーなどといったリプラの基本機能は、リニューアルした福岡銀行本店に移行しておりますので、是非こちらをご活用ください。

なお、リプラ北九州については、今までどおり営業しておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

次世代を担う子どもたちへ…

ジョブ・シャドウプログラムの実施

昨年に続き、FFGと福岡銀行では今年も職場体験プログラム「ジョブ・シャドウ」を開催しました。



このプログラムは、社員1名に生徒1名が常時同行（シャドウイング）し、電話応対や資料作成、会議への出席など慌しく執務する社員の「働く姿」に接することで、「働くこと」の意義や将来設計に關しての考えを深めるきっかけを提供するというものです。

今年も熊本ファミリー銀行でも実施し、体験後は参加した生徒から「社会を見る視野が広がった」「仕事への「興味」が「夢・目標」に変わった」など多くの感想が寄せられました。

経済教育プログラム

「SCP（スチューデントカンパニー・プログラム）」への支援

SCPとは、生徒が学校内に株式会社を設立し、商品の開発・生産・販売を行ってその経営成果を

16週間後の株主総会で発表するという体験型の経済教育プログラムのこと。この活動を通じて、広い視野を持つことや判断力・意思決定力を身に付けること、結果に対する責任意識を養うことなど、社会人としての基本的資質の育成を行っています。

ジョブ・シャドウにも参加した福岡市立福岡高等学校では、このSCPを導入し、「株式会社ハッピーフライ」を設立しました。

FFGでは、平成21年6月からこのSCPに参加し、当社グループの職員を指導役（社外取締役）として派遣しています。社外取締役はそれぞれの専門的知識を活かしながら、生徒が担当する各部門の仕事の進み具合などを確認し、毎回の活動終了後に開催される取締役会で、意見・アドバイスをを行います。

8月には本格的な株式も発行し、吉田宏福岡市長もこの株式を購入、また10月には中間決算報告も行われました。



児童向け図書への寄贈

幼少児童から小・中学生向けの図書を購入し、福岡・熊本・長崎県下のろう学校へ合計1,352冊の図書を寄贈しました。この取組みは、

活字離れなどが懸念される昨今の子どもたちに、豊かな感受性や人間性の形成の基盤となる「読書」を通じた学びの機会を提供したいとの目的のもと、初等教育の現場において、特に「読書活動」に力を入れているろう学校を対象に実施したものです。

家族参観日の実施

平成21年8月7日に従業員の家族が職場を訪問し、働く従業員の姿を見学したり、さまざまな職場体験を行ったりする「家族参観日」をグループ全社で開催しました。

これは、当社グループ設立後、初めての試みであり、本部・営業



長崎県立ろう学校



熊本県立熊本醫学校



福岡県立福岡醫学校

店のある266の拠点において計3,064名の家族が参加。当日は参加家族全員にオリジナルの名刺と記念品が配られ、従業員が実際に働く職場の見学や名刺交換体験などの他、会社の概要や銀行の役割・職場の様子などを収録したDVDの視聴や模擬紙幣を使った札勘（紙幣勘定）、両替体験、銀行クイズなど、さまざまな角度から家族の「働く姿」を体感できるイベントを実施しました。

「家族参観日」実施後に行ったアンケートでは、多数の参加家族から、「子どもにとっての働くことの意義」や「会社や職場に対する理解」が深まったとの声が聞かれ、従業員からも、「仕事や会社に対する誇りや働き甲斐を再確認することができた」と好評でした。

FFGでは今後も、従業員と家族のコミュニケーションを促進し、仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進に積極的に取り組んでいきます。



Universal Action ユニバーサルアクション

FFGは、高齢者、女性、子ども、障がい者などに特定しない「みんなにやさしい」の実現を目指したアクションを展開しています。

ユニバーサルアクション 3つの軸

- ハード** 店舗設備・各種機能
- ソフト** 「あなたのいちばんに。」を
目指した商品・サービス
- ヒューマン** 従業員一人ひとりの
「おもてなしの心」

ハード

「すべての人にやさしい」店舗

「すべての人にやさしい」をモットーに、お客さまとの接点である店舗のリニューアルを進めています。車椅子の方にも配慮したATMなどバリアフリー機能を充実させ、カウンターなどには木質を基調としたデザインを使用するなど温かみや居心地のよさを感じていただけるよう演出しています。

また、全店舗へのAED(自動体外式除細動器)の設置も完了、新入行員を始め従業員向けの講習を継続的に行っていきます。



ソフト

さまざまなユニバーサルツール

福岡銀行ではロビーに「ユニバーサルツール一覧ポスター」を掲示して、トイレやエレベーターなどの設備の有無、車椅子やAEDの設置状況など、ご来店いただいた支店で対応できる内容が一目で分かるようになっていきます。

この他FFGでは、口話や手話が困難な方のためのツールとして、代表的な銀行手続きなどを分かりやすくデザイン化した「コミュニケーションボード」の全店設置も行っています。

お客さまアンケートの実施

店舗の雰囲気や行員の身だしなみ、ご挨拶・ご案内やお声かけなどに対してのお客さまのご意見・ご感想をお寄せいただくため、お客さまアンケートを定期的に実施しています。

「TABLE FOR TWO」への参加

平成21年6月から、九州の金融機関としては初めての取組みとなる「TABLE FOR TWO」プログラムに参加しています。食堂でヘルシーメニューを注文すると、1食につき20円が開発途上国の学校給食費として寄付されるという仕組みで、従業員の健康維持を図ると同時に社会貢献活動に繋がるという取組みです。

11月末までの寄付金は132,290円となり、約6,600食分の給食を贈ることができました。



コミュニケーションボード

ヒューマン

全店にサービス介助士がいる銀行を目指して

サービス介助士とは、「おもてなしの心」と「介助技術」を身に付けるための資格です。ご来店いただくすべてのお客さまが安心してお手続きできるよう、FFGでは全店に配置したお客様責任者(支店長・副支店長)を中心にサービス介助士の資格取得を推進しています。現在、平成21年10月末までに244名のサービス介助士が誕生し、お客さまのサポートをさせていただきます。



information 2

「FTSE4 Good Index」の構成銘柄に選出されました。

FFGは、2009年9月に英国のフィナンシャル・タイムズ社とロンドン証券取引所の協同

出資会社であるFTSE社の「FTSE4 Good Index」の構成銘柄に選ばれました。



「FTSE4 Good Global Index」は、

2001年にFTSE社が開発・提供を開始した株式指標。企業責任活動において国際基準を満たす企業を構成銘柄とするSRI(社会的責任投資)の代表的指標で、世界2大SRIインデックスの一つとされ、CSRや持続可能性に関心を持つ投資家の投資選択基準となっている。

みなさまから、社会から、 信頼される企業であり続けるために

信頼される企業であるために

銀行は、その業務の公共性の高さから、透明性や信頼性が求められます。

そんな銀行にとっては、「コンプライアンス（法令等遵守）」は非常に重要なテーマ。FFGでは、コンプライアンスを経営の最重要課題のひとつと位置づけ、コンプライアンス態勢の充実と強化に取り組んでいます。

コンプライアンス・マニュアル

金融機関は、お客さまの大切な資産をお預かりするという銀行業務の公共性の高さから、経営の透明性や法令等遵守の徹底が強く求められています。

従業員一人ひとりに至るまでその姿勢を徹底するため、パート・スタッフを含む全役職員は、法令などの遵守を宣言した「コンプライアンス憲章」および「行動指針」を含んだ「コンプライアンス・マニュアル」を必携することとしています。

職場研修

「かわら版」などで事例研究

コンプライアンス統括部署は、法令の新設・改正やマスコミで報道された事件・事故など、コンプライアンスの観点から注意すべき事項について、随時情報発信を行っています。具体的な事例について分かりやすく解説した「コンプライアンスかわら版」の発行や定期的な職場研修会を実施しています。情報漏洩やインサイダー取引など、さまざまな具体例を想定し、どのような対処が相応しいか、事故を未然に防ぐにはどのような心がけるべきか、など全員で話し合う場となっています。



安心してお取引いただくために

金融商品の複雑化、また後を絶たない振り込み詐欺などの金融犯罪など、金融機関をご利用のお客さまのリスクは年々高まっているといえます。そのような中でも、安心してお取引いただけるよう態勢を整えています。

生体認証機能付き

ICキャッシュカード

キャッシュカードの不正利用を防ぐため、FFGでは、手指の静脈情報（生体認証情報）で

インターネットバンキングの 強力セキュリティサポート

スパイウェアやフィッシング詐欺などのインターネット犯罪への対策として、セキュリティツールを無償でご利用いただけます。また、「パスワード生成機（トークン）」で60秒毎に更新される1回限りの使い捨てパスワードにより、インターネットバンキングによる振込みやネットショッピングの決済などのセキュリティを大幅に強化しています（親和銀行は平成22年1月から開始）。



ご本人を確認する「指静脈認証」を用いたICキャッシュカードを導入しています。全店の窓口でお申込が可能です、対応型ATMも全店に設置しています。

個人情報保護への取り組み

FFGでは「個人情報保護宣言」を行い、お客さまからお預かりしている大切な情報について、外部への流出や紛失を防止するための安全措置を講じています。

お客さまの個人情報の取扱いに関するご質問・ご意見・苦情は、営業店および次のお問合せ窓口までお申し出ください。

- 【お問合せ窓口】受付時間9時～17時 銀行休業日除く
- 福岡銀行 サービス監査室（電話）0120(333)678
- 熊本ファミリー銀行 サービス監査室（電話）0120(548)775
- 親和銀行 お客さま相談室（電話）0120(333)284

みなさまから、社会から、信頼される企業であり続けるために

損益状況(連結ベース)

● FFG連結

(単位: 億円)

	平成20年度 中間期	平成21年度 中間期	前年比
経常収益	1,481	1,280	▲200
業務粗利益	927	1,008	81
資金利益	839	823	▲16
役務取引等利益	147	126	▲20
特定取引利益	1	2	0
その他業務利益	▲60	57	117
経費(除く臨時処理分)	648	634	▲15
業務純益	416	312	▲104
コア業務純益	359	367	8
経常利益	188	161	▲27
信用コスト	129	142	13
中間純利益	106	242	136

平成21年度中間期(平成21年9月期)は、大規模政策対応の効果や在庫調整の進捗等によって海外需要が改善し、景気に下げ止まり感ができましたが、中小企業については回復感に乏しく内需および雇用情勢は依然厳しい状況が続きました。「経常収益」は、貸出金利息や株式等売却益の減少等により、1,280億円となりました。

「コア業務純益」は、資金利益および役務取引等利益の減少をその他業務利益(国債等債券損益を除く)の増加および経費の削減によりカバーした結果、前年比+8億円増加し、367億円となりました。

「経常利益」は、信用コスト(償却債権取立益を除く)の増加等により、前年比▲27億円減少し、161億円となりました。

「中間純利益」は、福岡銀行子会社の親和コーポレート・パートナーズ株式会社を清算する方針としたことに伴い、繰延税金資産が160億円計上された結果、前年比+136億円増加し、242億円となりました。

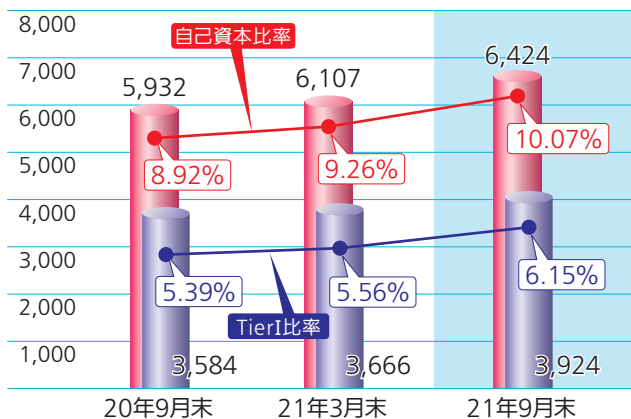
自己資本比率の状況(連結ベース)

自己資本比率は10.07%(21年3月末比+0.81%)、TierI比率は6.15%(同+0.59%)といずれも上昇しました。

自己資本比率・TierI比率

■自己資本額 ■TierI

(単位: 億円)



不良債権の状況(3行合算+分割子会社)

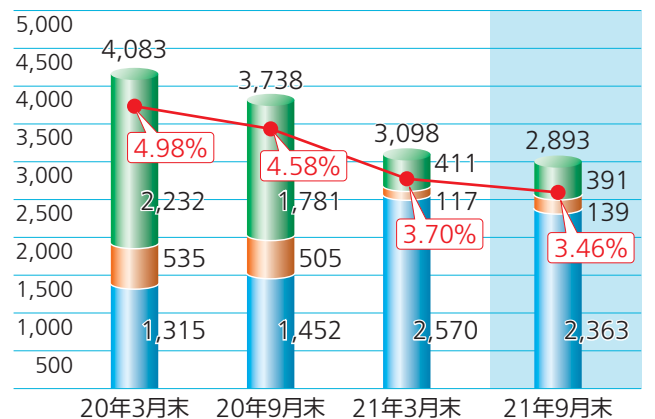
不良債権残高は、オフバランス化を進めた結果、21年3月末比▲205億円減少し、2,893億円(20年9月末比▲845億円)となりました。不良債権比率は同▲0.24%減少し、3.46%(同▲1.12%)と、着実に減少しております。

開示不良債権残高・比率

■福岡銀行 ■熊本ファミリー銀行 ■親和銀行

(単位: 億円)

※部分直接償却後



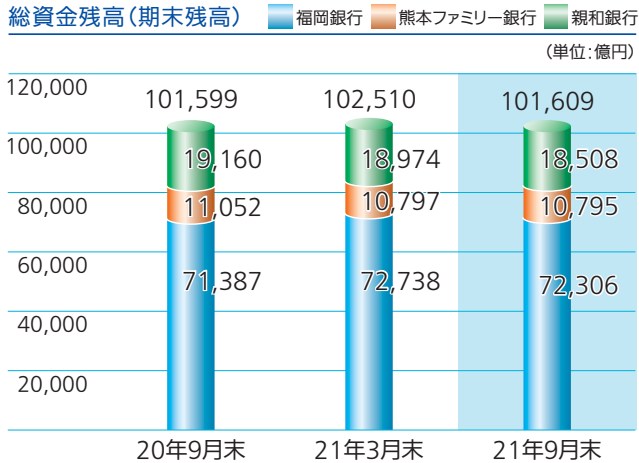


ふくおかフィナンシャルグループ 平成21年度中間期の業績ハイライト

総資金(預金+NCD)の状況

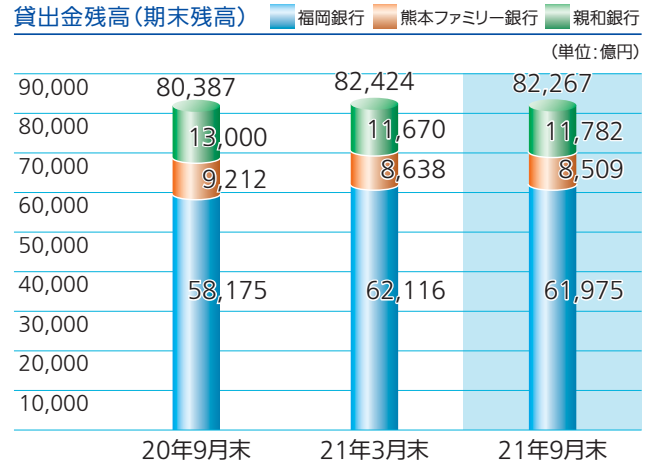
総資金(預金+NCD)は、個人預金が堅調に推移しました結果、前年比+10億円の10兆1,609億円となりました。

※NCD…譲渡性預金



貸出金の状況

貸出金は、不良債権のオフバランス化を進めた一方で、地元企業や個人のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えしました結果、前年比+1,880億円増加し8兆2,267億円となりました。



ふくおかフィナンシャルグループの格付情報

種類	格付	格付の定義
■ふくおかフィナンシャルグループ		
格付投資情報センター(R&I)	発行体格付	A 信用力は高く、部分的に優れた要素がある。
	短期債格付	a-1 短期債務履行の確実性は高い。
日本格付研究所(JCR)	長期優先債務格付	A 債務履行の確実性は高い。
	短期債格付	J-1 短期債務履行の確実性が最も高い。
■福岡銀行		
ムーディーズ	長期預金格付	A3 「A」は中級の上位で、信用リスクが低いと判断される預金債務に対する格付け。
	短期預金格付	P-2 短期預金債務の返済能力が高いと判断される発行体(または信用補完提供者)に対する格付け。
格付投資情報センター(R&I)	発行体格付	A+ 信用力は高く、部分的に優れた要素がある。
日本格付研究所(JCR)	長期優先債務格付	A+ 債務履行の確実性は高い。
■熊本ファミリー銀行		
格付投資情報センター(R&I)	発行体格付	A 信用力は高く、部分的に優れた要素がある。
日本格付研究所(JCR)	長期優先債務格付	A 債務履行の確実性は高い。
■親和銀行		
格付投資情報センター(R&I)	発行体格付	A 信用力は高く、部分的に優れた要素がある。
日本格付研究所(JCR)	長期優先債務格付	A 債務履行の確実性は高い。

(平成21年12月1日現在)

損益状況(単体ベース)

(単位: 億円)

	平成20年度 中間期	平成21年度 中間期	前年比
経常収益	1,038	907	▲130
業務粗利益	615	684	69
資金利益	561	576	15
国内部門	528	546	18
国際部門	33	29	▲3
役務取引等利益	93	75	▲18
特定取引利益	1	1	0
その他業務利益	▲41	32	73
経費	371	370	▲2
業務純益	210	251	41
コア業務純益	298	308	10
経常利益	163	153	▲10
信用コスト	137	100	▲37
中間純利益	93	258	166

「経常収益」は、有価証券利息や株式等売却益の減少等により前年比▲130億円の907億円となりました。

「コア業務純益」は、役務取引等利益が減少したものの、国内資金利益およびその他業務利益(国債等債券損益を除く)が増加したことにより、前年比+10億円増加し、308億円となりました。

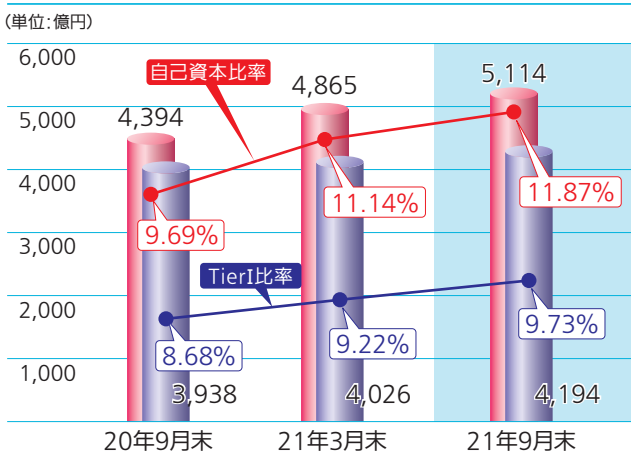
「経常利益」は、信用コスト(償却債権取立益を除く)が減少しましたが、有価証券(株式・債券)関係損益およびその他臨時損益等が減少したこと等により、前年比▲10億円減少し、153億円となりました。

「中間純利益」は、子会社の親和コーポレート・パートナーズ株式会社を清算する方針としたことに伴い、繰延税金資産が160億円計上された結果、前年比+166億円増加し、258億円となりました。

自己資本比率の状況(連結ベース)

自己資本比率(国内基準)は、21年3月末比+0.73%上昇し11.87%、TierI比率も同+0.51%上昇の9.73%となりました。

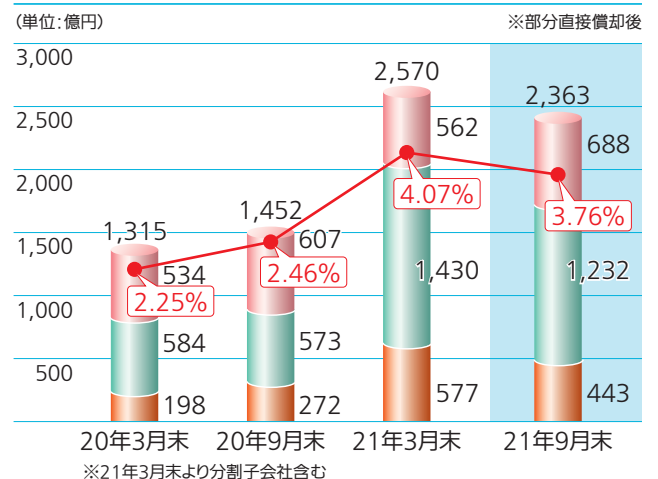
自己資本比率・TierI比率



不良債権の状況(単体+分割子会社)

【部分直接償却後】金融再生法開示債権は、21年3月末比▲207億円減少し2,363億円(20年9月末比+911億円)となりました。不良債権比率は、同▲0.31%低下し3.76%(同+1.30%)となりました。

開示不良債権残高・比率

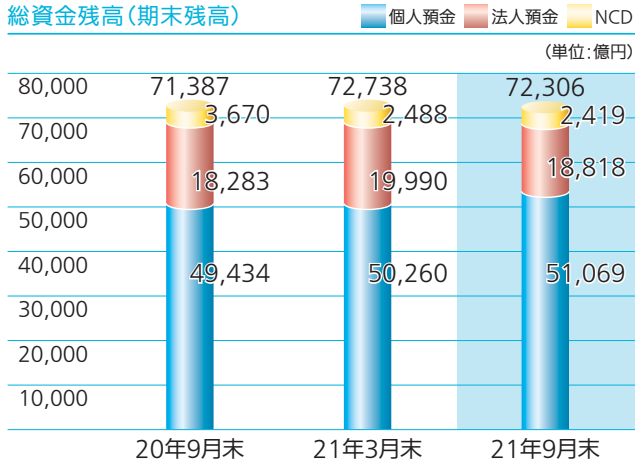




福岡銀行 平成21年度中間期の業績ハイライト

総資金(預金+NCD)の状況

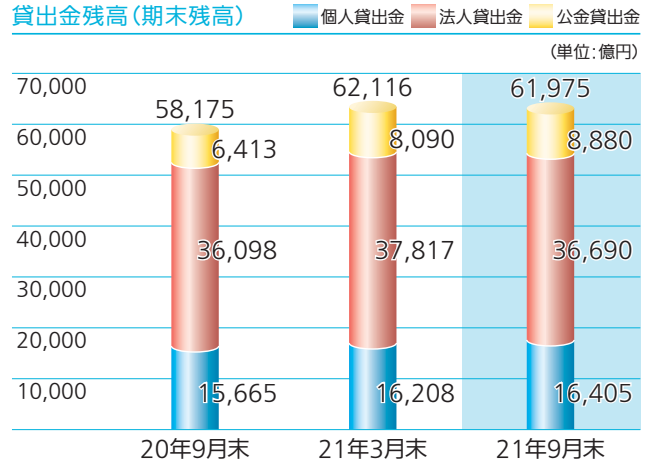
総資金(預金+NCD)は、個人のお客さまからの積極的な預金獲得に伴い、個人預金が前年比+1,635億円増加したことを主因に、前年比+919億円増加の7兆2,306億円となりました。



貸出金の状況

貸出金は、地元企業を中心とした新規取引の開拓など積極的な需資の取込みや住宅ローンの積上げを中心とした個人貸出金の推進を図った結果、総貸出金は前年比+3,800億円増加の6兆1,975億円となりました。

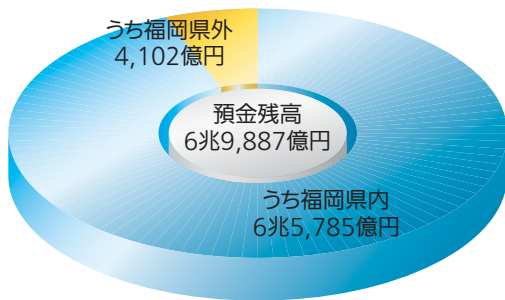
(法人貸出金にはFFG向け貸出金(20年9月末700億円、21年3月末1,050億円、21年9月末1,070億円)、熊本ファミリー銀行向け貸出金(20年9月末100億円)を含みます。)



福岡県内の預金残高(除くNCD)

預金残高6兆9,887億円のうち、9割以上の6兆5,785億円を福岡県内のお客さまからお預かりしております。

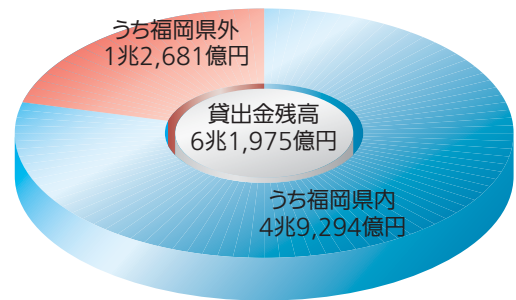
預金残高(全体・県内)



福岡県内の貸出金残高

福岡県内貸出金残高は総貸出金6兆1,975億円の約8割を占め、4兆9,294億円となっております。

貸出金残高(全体・県内)



「コアポイント」

銀行の収益力をみるには?

「損益状況」の表にある「コア業務純益」がひとつの指標となります。銀行の収益力を計ることが出来る情報として注目され、銀行の本来業務の実力をあらわしています。「コア業務純益」の大きさをそれぞれの業態(都市銀行、地方銀行、第二地方銀行といった区分)の中で比較することで、収益力が高い銀行か、低い銀行かを見極めることができます。

● コア業務純益

預貸金業務による資金利益や為替業務による手数料利益などから経費を差し引いたもので、銀行の本来の業務から得られる利益を示したものです。



損益状況(単体ベース)

(単位: 億円)

	平成20年度 中間期	平成21年度 中間期	前年比
経常収益	181	146	▲35
業務粗利益	120	116	▲4
資金利益	115	107	▲7
国内部門	114	107	▲7
国際部門	0	0	▲0
役務取引等利益	11	8	▲3
特定取引利益	—	—	—
その他業務利益	▲6	1	7
経費	81	85	4
業務純益	45	30	▲14
コア業務純益	36	31	▲5
経常利益	23	9	▲14
信用コスト	13	10	▲2
中間純利益	22	9	▲13

「経常収益」は、貸出金利減少に伴う資金運用収益の減少等により、前年比▲35億円の146億円となりました。

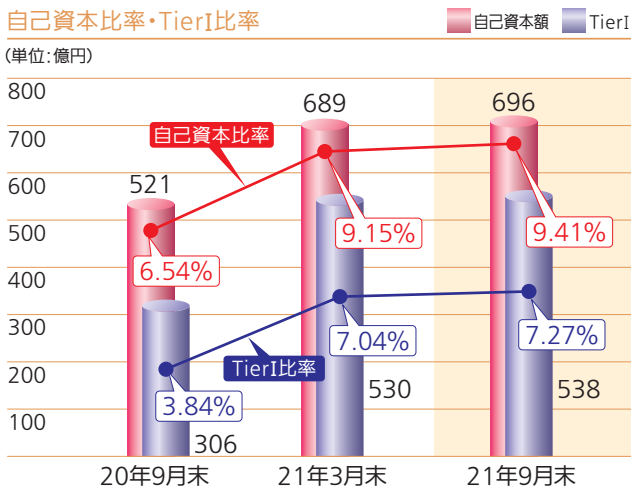
「コア業務純益」は、国内資金利益および役務取引等利益の減少により、前年比▲5億円減少し、31億円となりました。

「経常利益」は、信用コストは減少したものの、コア業務純益の減少に加え、有価証券(株式・債券)関係損益の減少等により、前年比▲14億円減少し、9億円となりました。

「中間純利益」は、以上の結果、前年比▲13億円減少し、9億円となりました。

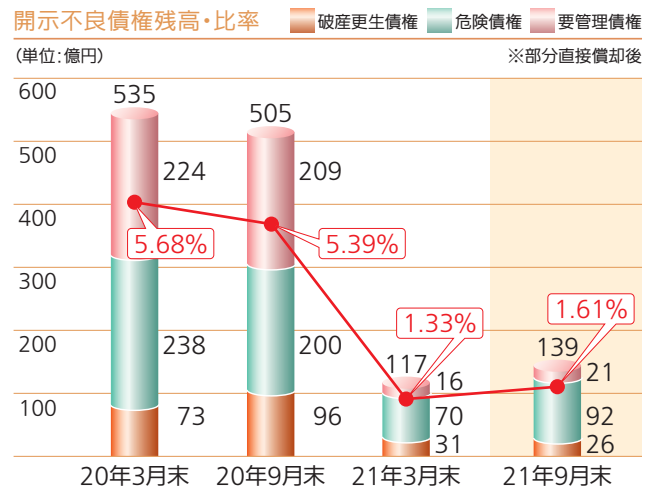
自己資本比率の状況(連結ベース)

自己資本比率(国内基準)は、21年3月末比+0.26%上昇し9.41%、TierI比率も同+0.23%上昇し7.27%となりました。



不良債権の状況

【部分直接償却後】金融再生法開示債権は、21年3月末比+22億円増加し139億円(20年9月末比▲366億円)となりました。不良債権比率は、同+0.28%上昇し1.61%(同▲3.78%)となりました。

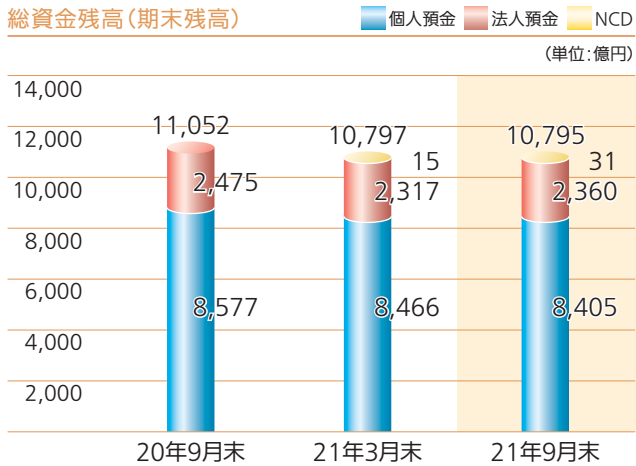




熊本ファミリー銀行 平成21年度中間期の業績ハイライト

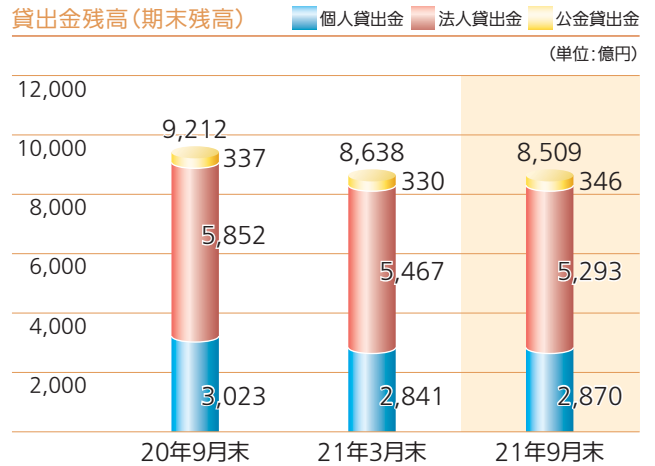
総資金(預金+NCD)の状況

店舗統廃合等の影響により、個人預金が前年比▲172億円、法人預金が前年比▲115億円となり、総資金残高は前年比▲257億円の1兆795億円となりました。



貸出金の状況

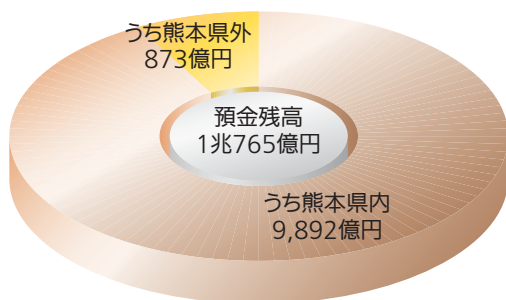
会社分割の影響等により、個人貸出金は前年比▲153億円、法人貸出金は前年比▲559億円となった結果、総貸出金残高は前年比▲703億円の8,509億円となりました。



熊本県内の預金残高(除くNCD)

預金残高1兆765億円のうち、9割超の9,892億円を熊本県内のお客さまからお預かりしております。

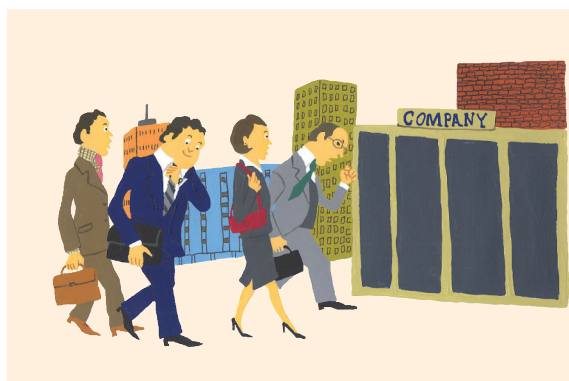
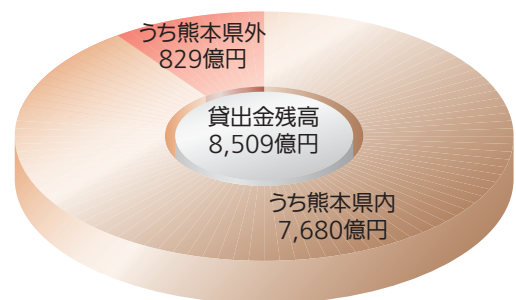
預金残高(全体・県内)



熊本県内の貸出金残高

熊本県内貸出金残高は総貸出金8,509億円の約9割を占め、7,680億円となっております。

貸出金残高(全体・県内)



各々の預金残高、貸出金残高を
チェック!

たしてきます。
先の皆さまに対する円滑な資金供給と良質な金融サービスの提供を充実させ、地域貢献という社会的責任を果たしてきます。

ココがポイント

損益状況(単体ベース)

(単位: 億円)

	平成20年度 中間期	平成21年度 中間期	前年比
経常収益	266	213	▲53
業務粗利益	149	167	18
資金利益	158	141	▲17
国内部門	156	138	▲18
国際部門	1	2	1
役務取引等利益	25	24	▲1
特定取引利益	—	—	—
その他業務利益	▲34	2	36
経費	135	118	▲16
業務純益	14	56	42
コア業務純益	44	48	4
経常利益	▲44	33	77
信用コスト	▲35	9	45
中間純利益	55	33	▲22

「経常収益」は、貸出金利息の減少に伴う資金運用収益や株式売却益の減少等により、前年比▲53億円の213億円となりました。

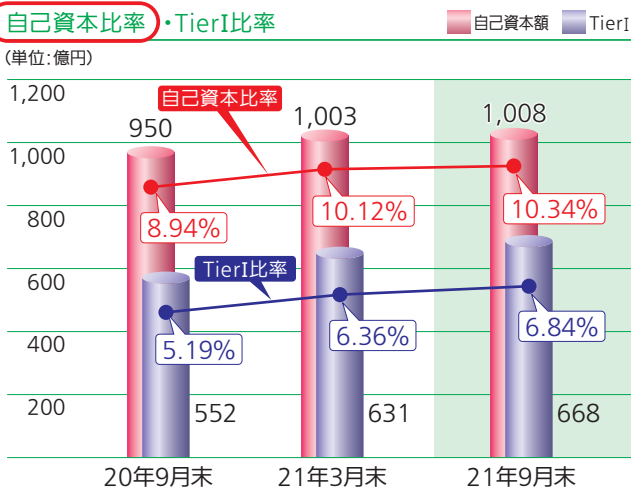
「コア業務純益」は、貸出金利息の減少等を主因として国内資金利益が減少しましたが、経費の削減等により、前年比+4億円増加し、48億円となりました。

「経常利益」は、信用コスト(償却債権取立益を除く)が増加しましたが、有価証券(債券・株式)関係損益が改善したことにより、前年比+77億円増加し、33億円となりました。

「中間純利益」は、前年の貸倒引当金取崩益(87億円)の不計上および償却債権取立益が減少したこと等により特別損益が前年比▲98億円減少した結果、前年比▲22億円減少し、33億円となりました。

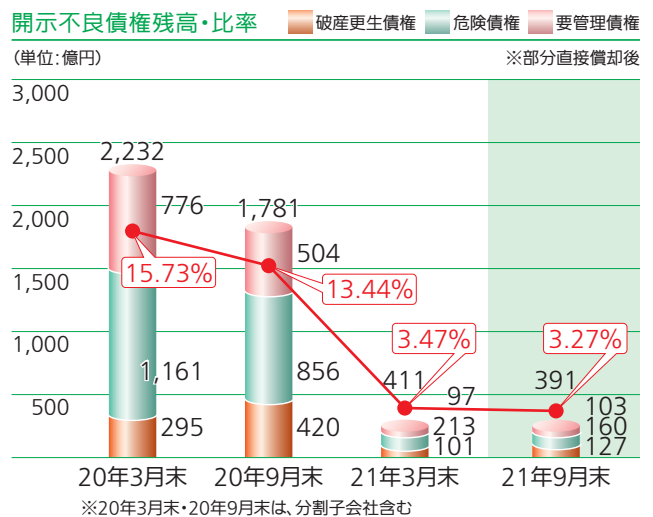
自己資本比率の状況(連結ベース)

自己資本比率(国内基準)は、21年3月末比+0.22%上昇し10.34%、TierI比率も同+0.48%上昇し6.84%となりました。



不良債権の状況

【部分直接償却後】金融再生法開示債権は、21年3月末比▲20億円減少し、391億円(20年9月末比▲1,390億円)となりました。不良債権比率は、同▲0.20%低下し、3.27%(同▲10.17%)となりました。





親和銀行 平成21年度中間期の業績ハイライト

総資金(預金+NCD)の状況

店舗統廃合などの影響により、個人預金が前年比▲462億円、法人預金が前年比▲95億円となり、総資金残高は前年比▲652億円の1兆8,508億円となりました。

総資金残高(期末残高)

■個人預金 ■法人預金 ■NCD
(単位:億円)

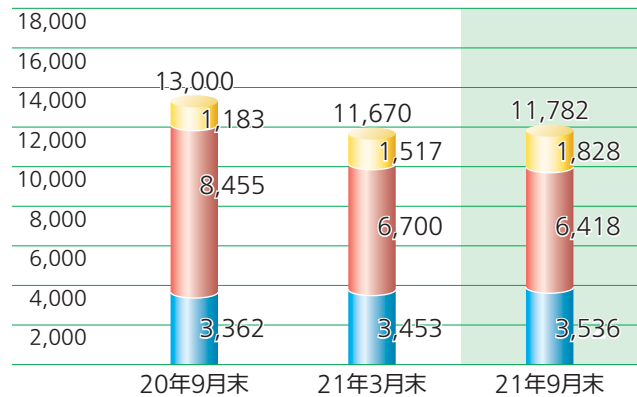


貸出金の状況

個人貸出金は住宅ローンの積み上げを中心に前年比+174億円となりましたが、会社分割の影響等により、法人貸出金は前年比▲2,037億円となった結果、総貸出金残高は前年比▲1,218億円の1兆1,782億円となりました。

貸出金残高(期末残高)

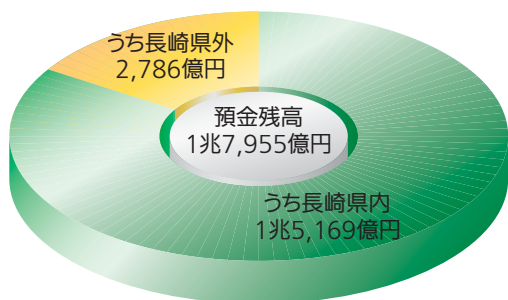
■個人貸出金 ■法人貸出金 ■公金貸出金
(単位:億円)



長崎県内の預金残高(除くNCD)

預金残高1兆7,955億円のうち、8割超の1兆5,169億円を長崎県内のお客さまからお預かりしております。

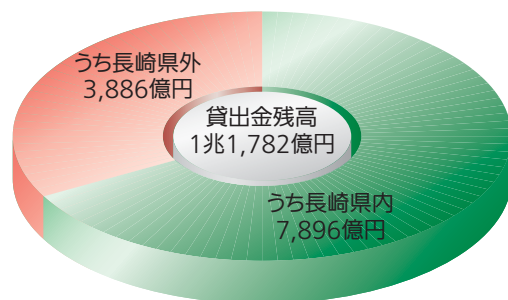
預金残高(全体・県内)



長崎県内の貸出金残高

長崎県内貸出金残高は総貸出金1兆1,782億円の約7割を占め、7,896億円となっております。

貸出金残高(全体・県内)



「コ」がポイント

銀行の健全性をみるには?

銀行の健全性を示す指標には、**自己資本比率(右ページ)「自己資本比率の状況(参照)」**があります。国内基準では4.0%、国際基準では8.0%以上あれば経営体質が健全で問題のない金融機関だと言えます。自己資本比率が高いほど経営が安定し、健全性も高いと言えます。また、貸出金に対して不良債権の残高の割合(不良債権比率/貸出金)を示す不良債権比率が小さければ小さいほど健全性に優れていると言えますし、その割合が減少してきているかどうかは、健全性を示す一つのポイントになります。

● **自己資本比率**
自己資本比率とは、リスク・アセット(貸出金などの資産)に占める自己資本の割合をパーセンテージで表したものです。

● **不良債権**
元本や利息の返済が行われない可能性がある債権のことです。残高が多ければ多いほど、健全性にマイナスの影響を及ぼします。

グループネットワーク

2009年11月末現在

ふくおかフィナンシャルグループ

福岡銀行

■連結子会社14社

福銀オフィスサービス(株)	人材派遣業務
福銀事務サービス(株)	事務代行業務
福銀不動産調査(株)	事務代行業務
ふくおか債権回収(株)	事業再生支援・債権管理回収業務
(株)FFGカード	クレジットカード業務
(株)FFGビジネスコンサルティング	調査・情報提供業務
福岡コンピューターサービス(株)	計算受託業務など
ふくぎん保証(株)	借入債務の保証業務など
親和コーポレート・パートナーズ(株)	債権管理・再生支援業務
Fukuoka Preferred Capital Cayman, Ltd.	投融資業務
Fukuoka Preferred Capital 2 Cayman, Ltd.	投融資業務
一般社団法人ふくおか・アセット・ホールディングス	投融資業務
(有)マーキュリー・アセット・コーポレーション	ファクタリング業務
(有)ジュピター・アセット・コーポレーション	ファクタリング業務

■関連会社(持分法適用会社)3社

前田証券(株)	金融商品取引業
九州技術開発1号投資事業有限責任組合	投融資業務
成長企業応援投資事業有限責任組合	投融資業務

熊本ファミリー銀行

■連結子会社3社

熊本ファミリー総合管理(株)	銀行担保物件競落業務
熊本ファミリー不動産(株)	不動産賃貸管理業務
ファミリーカード(株)	クレジットカード業務

※熊本ファミリー総合管理(株)は、平成21年5月8日付で解散を決議し、清算手続中です。

親和銀行

■連結子会社5社

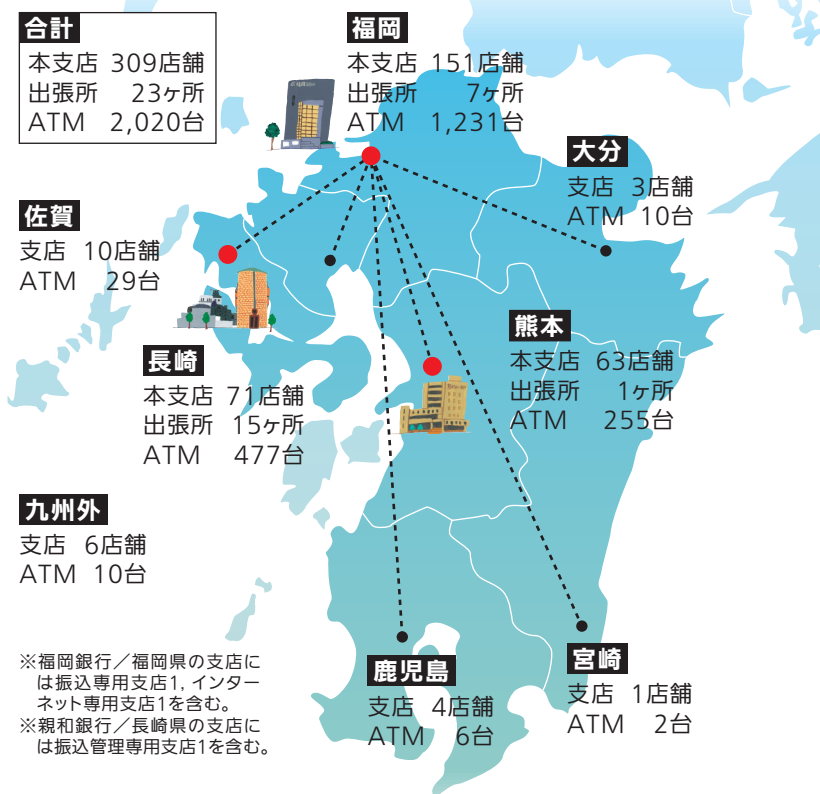
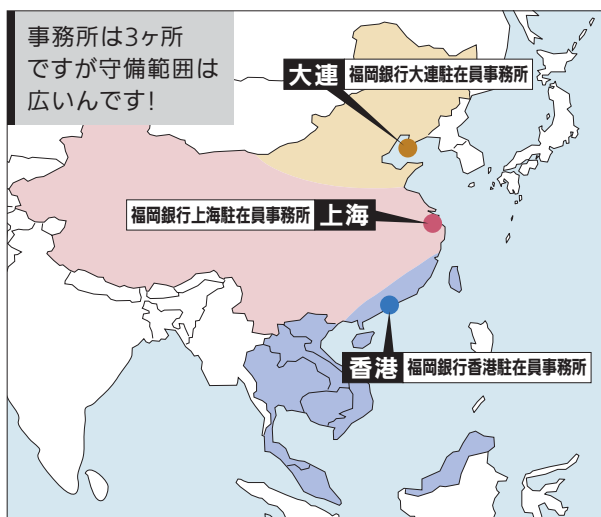
西九州保証サービス(株)	信用保証業務
しんわディーシーカード(株)	クレジットカード業務
しんわベンチャーキャピタル(株)	株式公開支援業務
しんわベンチャーキャピタル企業育成ファンド長崎一号投資事業有限責任組合	投融資業務
九州親和企業育成ファンド二号投資事業有限責任組合	投融資業務

FFG Preferred Capital Cayman, Ltd	投融資業務
-----------------------------------	-------

FFGのネットワーク

2009年12月末現在

海外ネットワーク



グループ銀行プロフィール

2009年12月末現在

ふくおかフィナンシャルグループは九州を基盤とした広域展開型地域金融グループです。

福岡銀行

設立日 昭和20年3月31日
本社所在地 福岡県福岡市中央区天神二丁目13番1号
電話(代表) 092-723-2131
資本金 823億円
U R L <http://www.fukuokabank.co.jp/>

1877年第十七国立銀行として創業し、2007年に130周年を迎えた。福岡市に本店を置き、主に九州全域の営業を行っている。本店は、建築家の黒川紀章氏により設計されたものである。外観上の最大の特徴ともなっている、直方体の一部を切り取ることで生まれた大きなピロティは、公共空間として利用されることを意図したものであり、竣工した1975年以来、いこいの広場として親しまれている。

福岡県ってこんなところ

【人口】5,049,908人 【面積】4,976.12km²
【人口密度】1,014.8人/km² (平成17年国勢調査)



熊本ファミリー銀行

設立日 昭和4年1月19日
本社所在地 熊本県熊本市水前寺六丁目29番20号
電話(代表) 096-385-1111
資本金 263億円
U R L <http://www.kf-bank.jp/>

熊本市に本店を置き、熊本県内を主なエリアとして営業を行っている。1929年に設立された熊本無尽は、1951年熊本相互銀行、そして1989年に熊本銀行となる。一方、1933年に設立された肥後無尽が1951年肥後相互銀行となり、1989年肥後ファミリー銀行となる。1992年両行が合併し、熊本ファミリー銀行が誕生した。

熊本県ってこんなところ

【人口】1,842,233人 【面積】7,404.83km²
【人口密度】248.8人/km² (平成17年国勢調査)



親和銀行

設立日 昭和14年9月1日
本社所在地 長崎県佐世保市島瀬町10番12号
電話(代表) 0956-24-5111
資本金 331億円
U R L <http://www.shinwabank.co.jp/>

佐世保市に本店を置き、長崎県内を主なエリアとして営業を行っている。1879年第九十九国立銀行として現在の平戸市に設立。1939年佐世保商業銀行と佐世保銀行が合併して、新たに株式会社親和銀行が設立される。2003年九州銀行と合併。親和銀行の名前は、設立当時の副頭取であり、2代目頭取、その後は大蔵大臣を務めた北村徳太郎が命名した。本店の建築は、哲学的と称される独自の建築を生み出した建築家・白井晟一氏による設計。

長崎県ってこんなところ

【人口】1,478,632人 【面積】4,094.76km²
【人口密度】361.1人/km² (平成17年国勢調査)



ふくおかフィナンシャルグループ
Fukuoka Financial Group

